

分布調査報告書(48)

令和4年3月

山形県

分布調査報告書 (48)

2022年3月

山形県

序

本県では、これまで約5,000か所の遺跡が確認されており、舟形町西ノ前遺跡から出土した国宝土偶「縄文の女神」をはじめとする貴重な埋蔵文化財が発見されています。これらの埋蔵文化財は、地域を形づくってきた豊かな歴史や文化を生き活きと物語る県民共有の財産であり、地域に対する誇りや愛着の醸成に欠くことのできないものです。また、地域づくりや観光振興の資源としての活用も期待されています。

道路や河川、農地の整備など、豊かで快適な県民生活を築くために開発事業が行われる場合には、開発と埋蔵文化財保護との調整を図ることが重要です。このため、開発事業に先立ち、踏査や試掘調査などの遺跡詳細分布調査を実施しています。

本報告書は、令和2年度に関係事業所からの事業計画聴取を経て、周知の遺跡や遺跡可能性地における48件の踏査・試掘調査・工事の立会調査を行った成果をまとめたものです。調査成果が埋蔵文化財保護行政の基礎資料となり、今後の遺跡の保護や開発計画の策定に役立つとともに、県民の皆様に広く活用されることを願います。

結びになりますが、調査に御協力いただいた関係各位に、厚くお礼申し上げます。

令和4年3月

山形県知事 吉村 美栄子

例　　言

- 1 本書は、令和2年度に山形県が国庫補助を受けて実施した、令和3年度以降の県農林水産部・県
　　県土整備部事業ほか関係遺跡に係る「遺跡詳細分布調査」の報告書である。
- 2 調査と本書の作成は山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財活用課の竹田純子、稻村圭一、
　　岩崎恒平、山科樹生が担当した。
- 3 遺跡詳細分布調査では、第Ⅰ章に調査の目的と経緯を、第Ⅱ章に調査の概要一覧、試掘調査の結
　　果、工事立会調査の結果を記した。第Ⅲ章には、令和2年度に市町村教育委員会他から通知・届
　　出があった遺跡の範囲等の修正と新規発見遺跡の一覧を示した。
- 4 挿図の縮尺は任意であり、各図毎にスケールを示した。遺跡地図は国土地理院発行2万5千分の
　　1の地図を使用し、使用地図の一覧は末尾に掲載した。
- 5 挿図及び文中の記号は以下のとおりである。

Tは試掘坑もしくはトレンチを表す。図中の赤色部分は遺構・遺物が検出されたことを示し、黒色
部分は遺構・遺物が未検出であることを示す。
　　遺跡位置図の黒枠に赤色部分は遺跡の範囲を示すものである。
　　なお、以下に調査で使用した検出遺構の略記号を掲載する。
　　S T : 竪穴建物跡 S D : 溝状遺構 S K : 土坑 S P : 柱穴跡・ビット S B : 掘立柱建物跡
　　E B : 掘立柱建物構成柱穴跡 S L : 炉跡
- 6 遺物写真の縮尺は任意である。
- 7 調査にあたっては、事業関係機関・市町村教育委員会及び地権者各位、地元関係者の御協力をい
　　ただきました。ここに記して感謝申し上げます。

目 次

第Ⅰ章 調査の目的と経緯

1 調査の目的	1
2 調査の経緯	1
3 調査の結果	2
令和2年度県内遺跡詳細分布調査工程表	2
令和2年度県内遺跡詳細分布調査一覧	3

第Ⅱ章 調査の概要

1 令和2年度県内遺跡詳細分布調査概要	6
No. 1～27(県農林事業関係遺跡)	20
No.27～31(県農林・県県土整備事業関係遺跡)	28
No.31～35(県県土整備・県教育庁・国土交通省事業関係遺跡)	29
No.35～45(国土交通省事業関係遺跡)	30
No.45～48(国土交通省・東北森林管理局事業関係遺跡)	33
2 試掘調査の概要	
(1) 露藤遺跡	34
(2) 漆山地区遺跡可能性地 1	46
(3) 三光堰西1期地区遺跡可能性地	49
(4) 杉沢C遺跡、遺跡可能性地	51
(5) 後谷地遺跡・サナミ坂窓跡隣接地	61
(6) 原の内A遺跡	65
(7) 大樋遺跡	69
(8) 山形城三の丸跡	75
(9) 宮内遺跡隣接地	82
(10) 一般国道13号真室川雄勝道路遺跡可能性地	84
(11) 赤川中流部河道掘削事業文下地区遺跡可能性地	86
(12) 赤川中流部河道掘削事業助川地区遺跡可能性地	89
(13) 三崎遺跡	91
(14) 弥陀之上遺跡隣接地	93
(15) 水林下遺跡	96

第III章 遺跡の登録と修正

1 範囲修正、名称変更	103
2 新規登録	103
令和2年度範囲修正・新規登録遺跡一覧	103
掲載遺跡位置図使用図幅一覧	106
報告書抄録	

第Ⅰ章 調査の目的と経緯

1 調査の目的

令和2（2020）年度の遺跡詳細分布調査は、令和3年度以降に予定される県内の開発事業計画に先行して、埋蔵文化財包蔵地及び遺跡可能性地他について踏査及び試掘調査を行い、遺跡の有無、範囲、時代、種別などの内容を明らかにすることを目的として実施した。この調査によって得られた結果は、各開発計画との調整に資され、遺跡の保護と保存のために活用されるものである。

なお、山形県で行う遺跡詳細分布調査は、以下の四つに区分している。

（1）踏査・現地確認調査（A調査）

開発事業計画の予定地内などにおいて踏査を行い、遺跡の所在や範囲の確認をする。事業計画区域と遺跡との平面的な関係を確認する調査である。

（2）試掘調査・遺跡確認調査（B調査）

坪掘りやトレンチ掘りによる調査を行い、遺構や遺物の平面的な分布範囲や遺構確認面までの深さ等を把握して、遺跡内容の情報を収集する調査である。

（3）記録保存のための発掘調査（C調査）

踏査や試掘調査の結果、遺跡の遺存状況が良好でない場合や、遺跡の開発事業にかかる面積が狭小な場合、あるいは事業区に接する程度等の場合に、必要に応じて実施する記録保存のための発掘調査である。

（4）工事立会調査

開発事業による遺跡への影響が軽微な場合や開発面積が狹小な場合に、工事に立ち会って実施する調査である。この調査によって遺構や遺物が発見された場合には、記録保存を行う。

2 調査の経緯

山形県では、例年5月～6月に開発関係機関に今後の事業計画についての照会を行う。回答を受けて、7月に事業内容の聴取を実施して、事業計画と埋蔵文化財包蔵地との関係について打合せを行っている。この結果に基づき必要に応じた分布調査を行い、事業との調整を図っている。その他、開発関係機関から提出された事業計画に基づく分布調査も隨時行っている。

令和2年度の調査は、「令和2年度県内遺跡詳細分布調査一覧」（3頁）に示した各遺跡の調査を、令和2年4月から令和3年3月まで「令和2年度県内遺跡詳細分布調査工程表」（2頁）の工程で行うとともに、事業予定区内外における埋蔵文化財包蔵地の有無を確認するための踏査と試掘調査も併せて実施した。

なお、令和2年度に山形県及び市町村教育委員会が新たに発見した遺跡（令和2年度登録遺跡）、範囲等を訂正した遺跡は、第Ⅲ章に示した。

調査の内容と結果については、第Ⅱ章に表形式で概要をとりまとめ報告し、遺跡位置図と調査写真をその後に掲載した。分布調査の結果、開発事業実施にあたって記録保存のための発掘調査が避けら

れないものについては、さらに次節で試掘調査結果の詳細を報告した。

3 調査の結果

踏査、試掘調査、工事立会調査をした周知の遺跡と遺跡可能性地及び事業対象地区は48件である。事業ごとの内訳は、県農林水産部事業が27件、県県土整備部事業が6件、県教育庁事業が1件、国土交通省事業が13件、東北森林管理局事業が1件である。

調査の内訳は、踏査が36件、試掘調査が15件、工事立会が3件である。なお、踏査と試掘調査の両方を行った遺跡は5件、踏査と工事立会の両方を行った遺跡は1件ある。

このうち、開発事業にあたって記録保存のための発掘調査が避けられない遺跡は、農地整備事業（経営体育成型）に係る杉沢C遺跡（遊佐町）・大橋遺跡（遊佐町）、都市計画道路八日町旅籠町線に係る山形城三の丸跡（山形市）、一般国道7号遊佐象潟道路事業に係る水林下遺跡（遊佐町）の4件である。

令和2年度県内遺跡詳細分布調査工程表

事業区分		令和2(2020)年												令和3(2021)年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
踏査・試掘調査・工事立会	県農林水産部	[■]			[■]	[■]	[■]	[■]	[■]	[■]	[■]	[■]	[■]			
	県県土整備部	[■]	[■]	[■]	[■]	[■]	[■]	[■]	[■]		[■]	[■]	[■]			
	県教育庁									[■]						
	国土交通省			[■]		[■]	[■]	[■]	[■]		[■]	[■]				
	東北森林管理局			[■]												
令和3年度以降の埋蔵文化財包蔵地に係る開発事業計画の照会・聴取			[■]		[■]											
整理作業	出土品・記録の整理										[■]	[■]	[■]			
	報告書原稿作成										[■]	[■]	[■]			

令和2年度県内遺跡詳細分布調査一覧

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分			備考
					踏査	試掘	記録工事 保存立会	
県農林水産部	1	農地整備事業(経営主体成型)	桧原地区		○			
	2	農地整備事業(経営主体成型)	龜岡西地区	露藤遺跡(381-314)	○	○		
	3	農地整備事業(経営主体成型)	赤坂東地区		○			
	4	農地整備事業(経営主体成型)	沼田中村地区		○			
	5	農地整備事業(経営主体成型)	平枝地区		○			
	6	農地整備事業(経営主体成型)	川ノ内地区	川の内遺跡(364-022)	○			
	7	農地整備事業(経営主体成型)	真室川北部2・3期地区	塩根川遺跡(364-067)	○			
	8	農地整備事業(中山間地域型)	大原南地区	狼沢遺跡(208-034)	○			
	9	農地整備事業(経営主体成型)	大槻秋山地区		○			
	10	農地整備事業(経営主体成型)	漆山地区	遺跡可能性地1		○		
	11	農地整備事業(中山間地域型)	大向上野地区	上野遺跡(364-015)	○			
	12	農地整備事業(経営主体成型)	三光壇西1期地区	遺跡可能性地		○		
	13	農地整備事業(経営主体成型)	三光壇西3期地区	馬形遺跡(363-004)	○			
	14	農村地域防災減災事業 (用排水施設等整備事業)	南山形地区	谷柏占墳群(201-020) 高崎遺跡(201-028) オサヤズ窓跡(201-107) 石田遺跡(201-327)	○		○	
	15	農地整備事業(経営主体成型)	杉沢前田地区	杉沢C遺跡(461-145) 遺跡可能性地		○		
	16	農地整備事業(経営主体成型)	当山地区	後谷地遺跡(461-007) サナミ坂窓跡(461-010)隣接地	○			

I 調査の目的と経緯

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分			備考
					踏査	試掘	記録 保存	
県農林水産部	17	農地整備事業(経営体 育成型)	白須賀地区	白須賀遺跡(365-002) 元館跡(365-008)	○			
	18	農地整備事業(経営体 育成型)	協栄地区		○			
	19	農地整備事業(経営体 育成型)	平岡3期地区	片杉野遺跡(364-047)	○			
	20	農地整備事業(経営体 育成型)	鶴子六沢地区	原の内A遺跡(212-029)		○		
	21	農地整備事業(経営体 育成型)	畠地区	幣掛遺跡(461-057) 神矢田遺跡(461-206)	○			
	22	農地整備事業(経営体 育成型)	大柄地区	大柄遺跡(461-151)		○		
	23	農地整備事業(経営体 育成型)	岡山地区	井岡遺跡(203-010)	○			
	24	水利施設等保全高度化 事業(集積促進型)	北平田1地区	新青渡遺跡(204-102)	○			
	25	農業水利施設保全合理 化事業(用排水施設整 備事業)	峯岸地区	荒町遺跡(212-026) 熊原遺跡(212-032)	○			
	26	農村地域防災減災事業 (地域ため池総合整備 事業)	袖崎地区	北沢遺跡(208-083)	○			
	27	農村地域防災減災事業 (ため池整備事業)	大江三郷地区	三百山橋跡(324-002) 深沢館跡(324-003)	○			
県県土整備部	28	交通安全道路事業(交 付金)(主)米沢猪苗代 線交差点改良工事	丸の内工区	米沢城東二の丸跡(202-487)			○	
	29	都市計画道路八日町旅 籠町線	二期	山形城三の丸跡(201-003)	○	○		
	30	都市計画道路北本町飛 田線	北本町飛田線	宮内遺跡(205-105)隣接地	○	○		
	31	道路改築事業(地債)(国)345号道改良工事	北目工区	野瀬遺跡(461-005)	○			
	32	都市計画道路事業道形 黄金線	鶴岡市馬場町	鶴ヶ岡城跡(203-044)			○	

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分			備考
					踏査	試掘	記録工事 保存立会	
県県土整備部	33	真室川(釜淵)河川整備単独事業(河川自然災防止)	真室川町大字釜淵	釜淵C遺跡(364-006)	○			
県教育庁	34	米沢義務学校西置賜校整備事業	長井市大字泉	南台遺跡(209-069)	○			
国土交通省	35	最上川上流寒河江管内河道整正外工事	大江町大字左沢			○		
	36	一般国道13号真室川雄勝道路	真室川町大字及位	遺跡可能性地		○		
	37	赤川中流部河道掘削事業	対馬地区			○		
	38	赤川中流部河道掘削事業	文下地区	遺跡可能性地	○	○		
	39	赤川中流部河道掘削事業	助川地区	遺跡可能性地	○	○		
	40	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿~県境	三崎遺跡(214-37-19)		○		
	41	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町吹浦~女鹿	小屋林道西遺跡(461-054) 谷地之子遺跡(461-064)	○			
	42	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿~県境	弥陀之上遺跡(461-070)隣接地		○		
	43	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿~県境	水林下遺跡(461-078)		○		
	44	一般国道7号興野地区事故対策	酒田市大字広野	土橋遺跡(204-027)	○			
	45	一般国道7号福岡交差点改良	酒田市大字広野		○			
東北森林管理局	46	最上川直轄河川改修事業(最上川中流)	新庄市大字本合海字烟		○			
	47	沢内の沢2砂防堰堤(角川・銅山砂防)	戸沢村大字角川		○			
東北森林管理局	48	立木販売	遊佐町大字杉沢字月の原	月野原C遺跡	○			

第Ⅱ章 調査の概要

1 令和2年度県内遺跡詳細分布調査概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	1	農地整備事業(経営体 育成型)	桧原地区		舟形町大字富 田		
	2	農地整備事業(経営体 育成型)	亀岡西地区	露藤遺跡(381-314)	高畠町大字船 橋、入生田、 露藤	集落跡	奈良・平安 時代
	3	農地整備事業(経営体 育成型)	赤坂東地区		新庄市大字萩 野		
	4	農地整備事業(経営体 育成型)	沼田中村地 区		真室川町大字 差首鎬字中 村・詰田沢		
	5	農地整備事業(経営体 育成型)	平枝地区		真室川町大字 差首鎬字平枝		
	6	農地整備事業(経営体 育成型)	川ノ内地区	川の内遺跡(364-022)	真室川町大字 川ノ内	集落跡	縄文時代
	7	農地整備事業(経営体 育成型)	真室川北部 2・3期地区	塩根川遺跡(364-067)	真室川町大字 及位	集落跡	縄文時代

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
段丘	田	事業地は最上川右岸の段丘上である。事業地全体が地山層を削り出して造成されており、旧地形は残っていない。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
後背湿地、自然堤防	田、畠	○露藤団地 事業地は最上川右岸の氾濫原及び自然堤防上に位置する。踏査の結果、最上川沿いの自然堤防上 4箇所で遺物の散布を確認したため、当該地を「遺跡可能性地1」として試掘調査を実施した。遺跡可能地内にトンレンチを 28箇所設定して調査を行ったところ、北側の一部を除くほぼ全ての範囲で遺構・遺物が確認されたため、当該地を「露藤遺跡」として遺跡登録することとした。 ○人生田団地 事業地は最上川右岸、高畠駅東側の後背湿地及び自然堤防上に位置する。踏査の結果、船橋集落の南側の畠で遺物を採取した。周辺を「遺跡可能性地2」とし、今後試掘調査を実施予定。	掘立柱建 物跡、土 坑、柱穴、 溝状遺構	須恵器片 土師器片	踏査 試掘
沖積地	田	踏査の結果、遺構・遺物は確認されず、事業地内に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
谷底平野・ 氾濫原	田	踏査の結果、遺構・遺物は確認されず、事業地内に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
段丘	田・畠	当該地は鮭川右岸の段丘面である。踏査の結果、遺構・遺物は確認されず、当地には遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
段丘	田・畠	当該地は、真室川左岸の段丘上。面工事部分では遺構・遺物は確認されず、遺跡は所在しないと考えられる。面工事部分西端から真室川にかけて設置される送水管部分は、川の内遺跡の範囲内であり、文化財保護法第94条の手続きが必要である。「工事立会」の勧告予定。	無し	無し	踏査
段丘	田・畠	○真室川北部2期 当該地は真室川右岸の氾濫原及び自然堤防上。事業地全体が過去の区画整備等により切盛土されている。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかつたが、塩根川遺跡の範囲については試掘調査が必要となる。 ○真室川北部3期 JR及位駅東側一帯及び2期地区の西側にあたる部分については、遺構・遺物は確認されなかつた。 3期地区東側については、次年度以降に踏査を実施予定。	無し	無し	踏査

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	8	農地整備事業(中山間地域型)	大原南地区	狼沢遺跡(208-034)	村山市大字大久保	集落跡	縄文時代
	9	農地整備事業(経営体育成型)	大槻秋山地区		村山市大字大槻字沖・共榮		
	10	農地整備事業(経営体育成型)	漆山地区	遺跡可能性地1	南陽大字漆山		
	11	農地整備事業(中山間地域型)	大向上野地区	上野遺跡(364-015)	真室川町大字大沢字大向・上野	集落跡	縄文時代
	12	農地整備事業(経営体育成型)	三光堰西1期地区	遺跡可能性地	舟形町大字長者原		
	13	農地整備事業(経営体育成型)	三光堰西3期地区	馬形遺跡(363-004)	舟形町大字堀内馬形 大藏村大字赤松字鳥川向	集落跡	縄文時代
	14	農村地域防災減災事業(用排水施設等整備事業)	南山形地区	谷柏古墳群(201-020) 高崎遺跡(201-028) オサヤズ窯跡(201-107) 石田遺跡(201-327)	山形市大字谷柏	古墳跡 集落跡 遺物包藏地 集落跡	古墳時代 奈良時代 縄文時代(前期)、奈良・平安時代 奈良・平安時代
	15	農地整備事業(経営体育成型)	杉沢前田地区	杉沢C遺跡(461-145) 遺跡可能性地	遊佐町大字杉沢	集落跡	縄文時代、奈良・平安時代、中世、近世

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
河岸段丘	田、畑、果樹	事業地は最上川左岸の河岸段丘上に位置する。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかつたが、狼沢遺跡の範囲については今後、試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
段丘	田、畑	事業地は最上川左岸の段丘上に位置する。踏査の結果、周辺より標高が高い2箇所において遺物の散布が確認されたため、それぞれ「遺跡可能性地1」、「遺跡可能性地2」として今後、試掘調査を実施予定。	無し	須恵器片	踏査
沖積地、自然堤防	田	当該地は、令和2年3月に実施した踏査において遺物の散布が確認されたため、当該地を「遺跡可能性1」として試掘調査を実施したもの。事業地内にトレンチを7箇所設定して調査を行ったところ、一部のトレンチにおいて遺物が出土したが、出土状況から流れ込みによるものと判断された。遺構は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	縄文土器片 須恵器片 土師器片	試掘
河岸段丘	田、畑、荒無地	事業地は鮭川両岸の河岸段丘上に位置する。踏査の結果、遺物の散布は確認されなかつたが、上野遺跡の範囲については今後、試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
河岸段丘	田	当該地は、平成30年11月に実施した踏査において遺物の散布が確認されたため、当該地を「遺跡可能性」として試掘調査を実施したもの。遺跡可能性とその西側にトレンチを4箇所設定して調査を行ったところ、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	試掘
河岸段丘	田、畑	当該地は最上川右岸の下段段丘上。踏査の結果、事業地の一部で縄文土器片及び石器片を採取した。遺物を採取した範囲を「遺跡可能性地」とし、馬形遺跡の範囲と併せて今後、試掘調査を実施予定。	無し	縄文土器片 石器	踏査
自然堤防、丘陵	田、畑、墓地	事業地のうち、工事用兼管理用道路部分について踏査を行った。踏査の結果、各遺跡及びその周辺で遺物の散布を確認したため、遺跡範囲が更に広がる可能性がある。工事実施に際し、括幅幅が狭小であるとともに道路構造令に準拠しないものであることから、事前の試掘調査は不要とし、工事立会を実施することとした。 オサヤズ窓跡付近の用排水工については、令和3年1月に工事立会を実施した。用排水路設置ライン上に4箇所のトレンチを設定し、掘削深度1mまで掘り下げを行ったが、遺構・遺物は確認されなかつた。	無し	須恵器片 土師器片	踏査 工事立会
谷底平野	田	事業地は庄内熊野川の左岸。令和元年度の調査に引き続きトレンチ18~59を設定して調査を行ったところ、7箇所のトレンチで遺構・遺物が確認された。トレンチ35において須恵器・土師器片が出土したため、これまで確認されていなかった古代の遺跡があることが判明した。事業実施にあたっては、杉沢B遺跡については「慎重工事」、杉沢C遺跡については「発掘調査」の勧告とすることとした。	土坑 柱穴 土色変化	縄文土器片 石器 須恵器片 土師器片 陶器片	試掘

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
	16	農地整備事業(経営体 育成型)	当山Ⅰ期地 区	後谷地遺跡(461-007) サナミ坂窯跡 (461-010)隣接地	遊佐町大字当 山	集落跡 窯跡	縄文時代 、平安時代
	17	農地整備事業(経営体 育成型)	白須賀地区	白須賀遺跡(365-002) 元館跡(365-008)	大藏村大字白 須賀	集落跡 城館跡	縄文時代 、中世
	18	農地整備事業(経営体 育成型)	共栄地区		真室川町大字 内町		
県農林水産部	19	農地整備事業(経営体 育成型)	平岡Ⅲ期地 区	片杉野遺跡(364-047)	真室川町大字 平岡	散布地	縄文時代
	20	農地整備事業(経営体 育成型)	鶴子六沢地 区	原の内A遺跡 (212-029)	尾花沢市大字 鶴子	集落跡	縄文時代 、平安時代
	21	農地整備事業(経営体 育成型)	畠地区	幣掛遺跡(461-057) 神矢田遺跡(461-206)	遊佐町大字当 山、大字北目	集落跡 集落跡	縄文時代 、縄文時代
	22	農地整備事業(経営体 育成型)	大橋地区	大橋館跡(461-151)	遊佐町大字小 原田字大橋	城館跡	

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
丘陵	田	サナミ坂窓跡南側隣接地にトレーナー2箇所、後谷地遺跡の範囲内にトレーナー8箇所を設定して調査を行った結果、いずれのトレーナーにおいても遺構・遺物は確認されなかった。後谷地遺跡については事業実施前の94条通知の提出必要。慎重工事の勧告予定。	無し	無し	試掘
低位段丘、氾濫原	田、畠	事業地は最上川と銅山川が合流する左岸側の低位段丘及び氾濫原に位置する。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかったが、平成28年に大蔵教育委員会が上竹野遺跡が位置する段丘下の付近において縄文土器を探取し、新たに上竹野2遺跡が登録されていることから、縄文土器が採取された周辺を「遺跡可能性地1」とし、今後、試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
段丘	田、畠	事業地は金山川左岸に展開する幅広な段丘面となっている。踏査の結果、遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
台地、氾濫平野	田	昨年度までの未調査範囲について踏査を行った。事業地南側部分（神沢集落南側）については、遺構・遺物は確認されなかった。全体に過去に改田され切土・盛土が行われており、地形的には緩い窪地状となるため、遺跡は所在しないものと判断された。北側部分（平岡集落付近）は、ほぼ全域が金山川の氾濫原。平岡集落付近の一部が河岸段丘上の水田となるが、周辺の畑地を含め、遺物の散布は確認されず、遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
河岸段丘	田	事業地は丹生川左岸の河岸段丘上。事業地内に3箇所のトレーナーを設定して調査を行ったところ、全てのトレーナーにおいて遺構・遺物を確認した。事業実施にあたっては文化財保護法に係る手続きが必要となる。	竪穴建物跡、土坑、ビット、か埋跡	縄文土器片 石器	試掘
丘陵	田、畠	事業地は高瀬川右岸の河岸段丘から北側丘陵に至る傾斜地一帯。事業地内に所在する神矢田遺跡は遊佐町の指定史跡となっている。踏査の結果、神矢田遺跡の範囲において遺物が濃密に散布する状況が確認され、散布状況から遺跡範囲が更に広がる可能性がある。事業実施にあたっては文化財保護法に係る手続きが必要となる。また、神矢田遺跡北側の斜面地において縄文土器・須恵器・土師器片の散布を確認した。遺物の散布が確認された範囲を「遺跡可能性地1」とし、今後、試掘調査を実施予定。なお、幣掛遺跡については事業地外となる。	無し	縄文土器片 石器 須恵器片 土師器片	踏査
自然堤防、扇状地、氾濫原	田	事業地は月光川左岸の扇状地の先端部、自然堤防の微高地に位置する。事業地内に15箇所のトレーナーを設定して調査を行ったところ、トレーナー2において遺構・遺物を確認した。遺構・遺物が確認された範囲については記録保存調査が必要となる。	溝状遺構 ビット	須恵器系陶器片	試掘

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	23	農地整備事業(経営体育成型)	岡山地区	井岡遺跡(203-010)	鶴岡市大字岡山	遺物包蔵地	平安時代、鎌倉時代
	24	水利施設等保全高度化事業(集積促進型)	北平田1地区	新青渡遺跡(204-102)	酒田市大字漆曾根	集落跡	平安時代
	25	農業水利施設保全合理化事業(用排水施設整備事業)	峯岸地区	荒町遺跡(212-026) 熊原遺跡(212-032)	尾花沢市大字細野字峯岸	散布地	縄文時代
	26	農村地域防災減災事業(地域ため池総合整備事業)	袖崎地区	北沢遺跡(208-083)	村山市大字土生田	散布地	縄文時代
	27	農村地域防災減災事業(ため池整備事業)	大江三郷地区	三百山橋跡(324-002) 深沢館跡(324-003)	大町町大字三郷	城館跡	中世
県県土整備部	28	交通安全道路事業(交付金)(主)米沢猪苗代線交差点改良工事	丸の内工区	米沢城東二の丸跡(202-487)	米沢市丸の内	城館跡、集落跡	中世、近世
	29	都市計画道路八日町旅籠町線	二期	山形城三の丸跡(201-003)	山形市七日町～本町	城館跡	中世、近世
	30	都市計画道路北本町飛田線	北本町飛田線	宮内遺跡(205-105)隣接地	新庄市五日町		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
氾濫平野	田	事業地は湯尻川の右岸、岡山集落の北～西側にかけての範囲である。事業地内には井岡遺跡が所在し、事業地に近接する台地上に井岡城跡が所在する。踏査の結果、事業地全体において遺構・遺物は確認されなかった。また、井岡城跡は事業地外となることを確認した。井岡遺跡については、事業実施前に試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
氾濫平野	田	事業地内に位置する新青渡遺跡は、過去のほ場整備時にも発掘調査を実施している。踏査の結果、新青渡遺跡内だけでなく、事業地全体で遺物を採取した。今後、事業設計を受けて、対応方法を検討する。	無し	須恵器片 土師器片	踏査
谷底平野	用悪水路	事業地周辺には、荒町遺跡、蕉原遺跡が近接するが、ともに一段高い段丘上に位置しており、事業地まで範囲が及ばないことを確認した。また、遺物の散布等ではなく、事業予定地には遺跡は存在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
山地	山林	R2年度工事箇所については遺跡の隣接地での舗装工事のみであり、文化財保護法94条通知は不要。	無し	無し	踏査
山地	山林	工事用道路予定地には三百山橋跡、深沢橋跡が位置する。工事用道路は、禹城館跡に挟まれた沢地に沿つて設置される。沢地付近は三百山橋跡の範囲裾部。前田ため池付近は深沢橋跡の一部に係ることを確認したが、予定地には遺物の散布ではなく、城館を構成する堀跡や曲輪跡等の遺構は存在しないことが確認された。事業実施にあたっては、文化財保護法94条通知が必要となる。「慎重工事」の勧告予定。	無し	無し	踏査
扇状地	宅地、道路用地	道路拡幅に伴う水路工への立会を行った。地表下約70～90cmの深さまで掘削を行い、遺構遺物の有無を確認した。その結果、部分的に地山が残存する範囲も確認されたが、擾乱が及んでいる範囲が多く、遺構・遺物は確認されなかつた。写真等の記録を作成後、工事着手を可とした。	無し	無し	工事立会
扇状地	道路用地	事業地は山形城三の丸跡内に位置しており、旅籠町八日町線（第1期）においても記録保存調査が実施されている。事業地内に11箇所のトレンチを設定して調査を行ったところ、そのうち7箇所のトレンチで遺構・遺物が確認された。遺構・遺物が確認された範囲については記録保存調査が必要となる。また、試掘調査未実施の範囲については、今後、継続して試掘調査を実施予定。	豊穴建物跡、溝跡、土坑	土師器片	踏査 試掘
氾濫平野	道路用地	事業地は戸前川と指首野川の合流地点から北東約1.3km、宮内遺跡が所在する微高地の南側を走る県道345号線を挟んだ南側である。事業地内にトレンチを2箇所設定して調査を行ったところ、両トレンチとも遺構・遺物は確認されず、事業地まで遺跡は及ばないものと判断された。	無し	無し	踏査 試掘

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県 県土整備部	31	道路改築事業(地債)(国)345号道改良工事	北目工区	野瀬遺跡(461-005)	遊佐町大字北目	散布地	平安時代
	32	都市計画道路事業道形黄金線	鶴岡市馬場町	鶴ヶ岡城跡(203-044)及び隣接地	鶴岡市馬場町	城館跡	
	33	真室川(釜湧)河川整備単独事業(河川自然災防止)	真室川町大字釜湧	釜湧C遺跡(364-006)	真室川町大字釜湧	集落跡	縄文時代
県 教育厅	34	米沢養護学校西置賜校 整備事業	長井市泉	南台遺跡(209-069)	長井市大字泉	古墳時代、平安時代	散布地
国土交通省	35	最上川上流寒河江管内 河道整正外工事	大江町大字左沢		大江町大字左沢		
	36	一般国道13号真室川 雄勝道路	真室川町及位	遺跡可能性地	真室川町大字及位字朴木沢		
	37	赤川中流部河道掘削事業	対馬地区		三川町大字横山字袖原		

立地	地目	調査概要	検出構	出土遺物	調査区分
沖積地	田	当該地は、庄内高瀬川右岸の沖積地である。事業予定地は、野瀬遺跡の範囲に一部含まれる。野瀬遺跡は現国道345号道路改良工事および県営圃場整備事業で立会調査等の記録保存が図られている。また、事業地北西側に接する野田遺跡は、現在建設中の日本海沿岸東北自動車道に起因して発掘調査が行われた遺跡である。野瀬遺跡範囲及びその他の路線範囲については、今後全域で試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
扇状地	道路用地	立会箇所は鶴ヶ岡城跡の範囲内1箇所、隣接地2箇所である。遺跡範囲内の対象地は、地表面1辺3.45mの方形、底面約2mの方形、深さ1.69mである。立会の結果、50cmの盛土（表土）の下層は近年に埋跡を埋めたと考えられる暗青灰色の砂とシルト層の互層となる状況であった。遺物は出土しなかった。対象地での工事は埋跡の埋土内で行われることから、工事による遺跡への影響はないものと判断された。	埋跡	無し	工事立会
河岸段丘	河川	事業地は河床面から2mほどの真室川左岸の低位河岸段丘辺上。遺跡の立地する高位河岸段丘との比高差は10m以上となる。また、平成12年に実施した県教委による県営ほ場整備事業にかかる釜淵C遺跡の試掘調査結果を踏まえ、対象地は遺跡の範囲外となることを確認した。	無し	無し	踏査
氾濫平野	学校用地	当該地は最上川左岸の氾濫平野上に位置する。事業地のうち、グランドの一部が南台遺跡の範囲となっている。グランドは盛土整備されている。南台遺跡が立地する自然堤防はグランド北側の住宅地まであり、グランドまでは延びないと考えられたが、遺跡登録した長井市教委より中学校建設時に遺物が出土したとの話があることから、今後、試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
水部	河川	事業地は最上川の中州と河道である。中州には左沢橋山城跡や最上川舟運に関する遺構が存在する可能性があり、掘削を伴う事業実施前に試掘調査が必要。	無し	無し	踏査
河岸段丘	山林・道・雑種地	事業地は朴木沢川左岸の段丘上に位置する。事業地内に6箇所のトレンチを設定して調査を行ったところ、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかった。遺跡可能性地のうち、町道の東側の範囲については今後、試掘調査を実施予定。	無し	無し	試掘
自然堤防	河川	酒田河川国道事務所による河道掘削が行われており、掘削箇所の確認を行った。表土下は砂礫層が厚く堆積しており、遺物等は確認できなかった。当地に遺跡は所在しないと判断された。	無し	無し	踏査

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
国土交通省	38	赤川中流部河道掘削事業	文下地区	遺跡可能性地	鶴岡市大字文下字村ノ内		
	39	赤川中流部河道掘削事業	助川地区	遺跡可能性地	三川町大字助川		
	40	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	三崎遺跡(214-37-19)	遊佐町大字吹浦字三崎 にかほ市象潟町子砂川字三崎	遺物包藏地	縄文時代
	41	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町吹浦～女鹿	小屋林道西遺跡(461-054) 谷地之子遺跡(461-064)	遊佐町吹浦～女鹿	集落跡 散布地	縄文時代・平安時代
	42	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	弥陀之上遺跡(461-070)隣接地	遊佐町吹浦字 弥陀之上	散布地	縄文時代、平安時代
	43	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	水林下遺跡(461-078)	遊佐町吹浦字 水林下	集落跡	縄文時代
	44	一般国道7号興野地区事故対策	酒田市広野	土橋遺跡(204-027)	酒田市大字広野		
	45	一般国道7号福岡交差点改良	酒田市広野		酒田市大字広野		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
河岸段丘	河川	令和2年8月に実施した踏査時に遺物を採取したため、遺跡の有無を確認するために試掘調査を実施した。事業地内に8箇所のトレンドチを設定して調査を実施したところ、流れ込みによるものと考えられる遺物1点を除いて遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	土師器片	踏査 試掘
河岸段丘	河川	令和2年8月に実施した踏査時に遺物を採取したため、遺跡の有無を確認するために試掘調査を実施した。事業地内に4箇所のトレンドチを設定して調査を実施したところ、流れ込みによるものと考えられる遺物を除いて遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	土師器片	踏査 試掘
丘陵	山林	事業地内にトレンドチ6箇所を設定して調査を行ったところ、全てのトレンドチで鳥海山の噴火による岩屑堆積物が堆積し、遺構・遺物は確認されなかった。調査結果に基づき、遺跡範囲の修正を行うこととなり、県境は跨がず秋田県側のみが遺跡範囲となる。	無し	無し	試掘
段丘	山林	戸之内田遺跡の先から上長根遺跡の手前まで踏査を実施した。小屋林道西遺跡と谷地之子遺跡が事業地に含まれる。谷地之子遺跡の北側の丘陵上で比較的平坦な範囲を確認したことから、当該地を「遺跡可能性地2」とした。これらについては、今後試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
段丘	宅地、畑、山林	当該地は令和元年度に実施した遺跡範囲及び隣接地の試掘調査において、隣接地部分からも遺物が出士したため、更に北側の範囲について試掘調査を実施したもの。事業地内に7箇所のトレンドチを設定して調査を行ったところ、遺構・遺物は確認されず、弥陀之上遺跡は広がらないと判断された。遺跡の範囲内については着工前に文化財保護法第94条の通知が必要である。「慎重工事」の勧告とする。	無し	無し	試掘
山地・丘陵地	山林	令和元年度に引き続き、事業地内に14箇所のトレンドチを設定して調査を行ったところ、トレンドチ19～21において遺構・遺物を確認した。遺構・遺物が確認された範囲及びその南の範囲については、令和3年度に発掘調査を実施予定。	柱穴 土坑 土色変化	土師器片	試掘
氾濫平野	道路用地	酒田市広野地区の国道7号線現道西側を抵張するものの。工区予定地には既に盛土・整地されているため、隣接する水田・畑地での遺物の散布状況を確認したが、遺物は確認されなかった。当地に遺跡は所在しないものと判断された。また、上崎遺跡の範囲は事業地外であることを確認した。	無し	無し	踏査
氾濫平野	荒無地	酒田市広野地区福岡交差点において付加車線の整備・カラー舗装等による改良を行うもの。改良区域は赤川右岸の氾濫平野であり、付近に遺物の散布も確認されないことから、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
国土交通省	46	最上川直轄河川改修事業(最上川中流)	新庄市畠		新庄市大字本合海字畠		
	47	沢内の沢2砂防堰堤(角川・鍋山砂防)	戸沢村大字角川		戸沢村大字角川		
東北森林管理局	48	立木販売		月野原C 遺跡 (461-155)	遊佐町大字杉沢字月の原	集落跡	縄文時代

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
氾濫平野	田、宅地、道路用地	現国道47号及び堤防のかさ上げ事業。対象地は最上川左岸の氾濫原。踏査の結果、遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
山地・丘陵地	田、宅地	事業予定地は住宅背後の砂防堰堤本体及び関連工事用道路である。踏査の結果、対象地は沢および既切・盛土整地部分であり、遺跡は所在しないものと判断された。なお、60mほど北西部に沢を挟んで沢内遺跡（縄文時代）が所在するが、今回の対象地まで遺跡範囲が及んでいないことを確認した。	無し	無し	踏査
山地	山林	事業内容は立木伐採と運搬路新設。遺跡の範囲内または隣接地で実施するものであり、遺跡との関係を現地で確認したところ、遺跡は現在豚舎（鳥海ファーム）が位置する平場の造成地と考えられ、事業地は遺跡外と判断された。	無し	無し	踏査

II 調査の概要

* 位置図・図版の番号は分布調査概要の番号と一致する



1 椎原地区



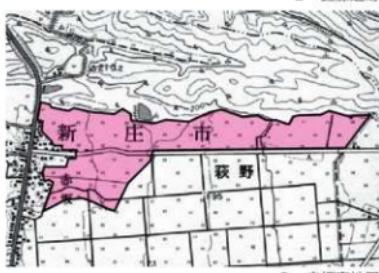
1 椎原地区(北西から)



2 露藤遺跡



2 露藤遺跡(北から)



3 赤坂東地区



3 赤坂東地区(北西から)



4 沼田中村地区



4 沼田中村地区（北から）



5 平枝地区（西から）



5 平枝地区



6 川之内遺跡



6 川之内遺跡（西から）



7 塩根川遺跡



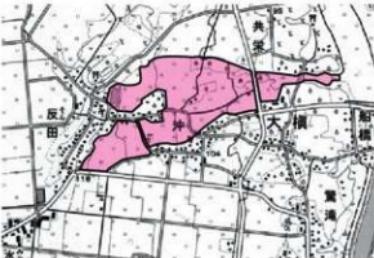
7 塩根川遺跡（南東から）



8 狼沢遺跡



8 狼沢遺跡(北から)



9 大横秋山地区



9 大横秋山地区(北から)



9 大横秋山地区遺物散布状況



10 漆山地区遺跡可能性地1



10 漆山地区遺跡可能性地1(北東から)



11 上野遺跡



11 上野遺跡(南から)



12・13 三光堰西地区遺跡可能性地、馬形遺跡



12 三光堰西地区遺跡可能性地（北西から）



13 馬形遺跡（南西から）



13 三光堰西3期地区表採遺物



14 谷柏古墳群、高崎遺跡、石田遺跡



14 谷柏古墳群（東から）



14 高崎遺跡（南から）



14 石田遺跡（北から）



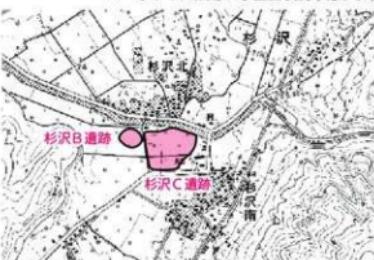
14 オサヤズ窯跡(南から)



14 オサヤズ窯跡工事立会状況(北から)



14 南山形地区遺物散布状況



15 杉沢C遺跡、杉沢B遺跡



15 杉沢前田地区(東から)



16 後谷地遺跡、サンナミ坂窯跡



16 サナミ坂窯跡(西南から)



16 後谷地遺跡(北西から)



17 白須賀遺跡・元館跡



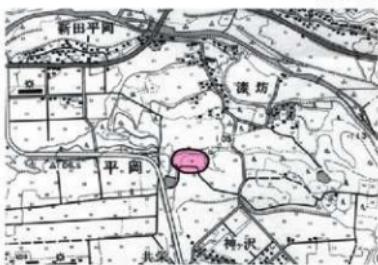
17 白須賀遺跡・元館跡(西から)



18 共栄地区



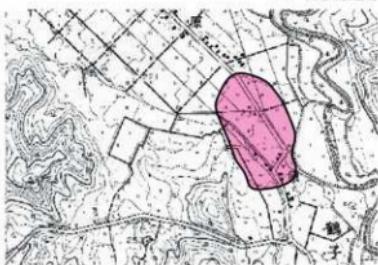
18 共栄地区(西から)



19 片杉野遺跡



19 片杉野遺跡(南から)



20 原の内A遺跡



20 原の内A遺跡(南東から)



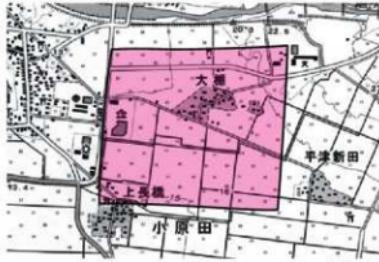
21 帯掛遺跡、神矢田遺跡



21 神矢田遺跡（北西から）



21 畑地区表採遺物



22 大橋遺跡



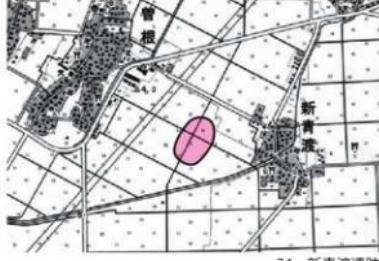
22 大橋遺跡（北西から）



23 井岡遺跡



23 井岡遺跡（南から）



24 新青渡遺跡



26 北沢遺跡(北から)



25 荒町遺跡(西から)



27 三百山橋跡、深沢館跡



27 前田ため池(深沢館跡内)(北から)



28 米沢城東二の丸跡



28 米沢城東二の丸跡工事立会(東から)



29 山形城三の丸跡



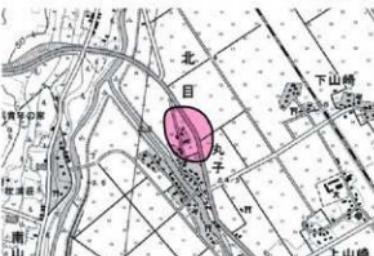
29 山形城三の丸跡(北から)



30 宮内遺跡



30 宮内遺跡(南側隣接地)(西から)



31 野瀬遺跡



31 野瀬遺跡（南西から）



32 鶴ヶ岡城跡



32 鶴ヶ岡城跡工事立会（南東から）



33 釜淵C遺跡



33 釜淵C遺跡（南から）



34 南台遺跡



34 南台遺跡（東から）



35 最上川上流寒河江管内河道土砂掘削



35 最上川上流寒河江管内河道土砂掘削（北から）



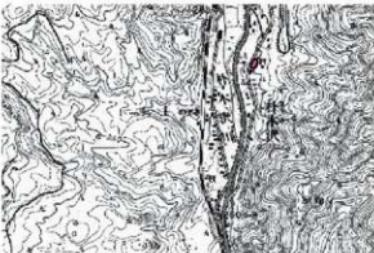
36 一般国道13号真室川雄勝道路遺跡可能性地（南から）



37 赤川中流部河道掘削事業対馬地区（北から）



38 赤川中流部河道掘削事業文下地区（南から）



36 一般国道13号真室川雄勝道路遺跡可能性地



37 赤川中流部河道掘削事業対馬地区



38 赤川中流部河道掘削事業文下地区



38 赤川中流部河道掘削事業文下地区表採遺物



39 赤川中流部河道掘削事業助川地区



39 赤川中流部河道掘削事業助川地区(南から)



39 赤川中流部河道掘削事業助川地区表採遺物



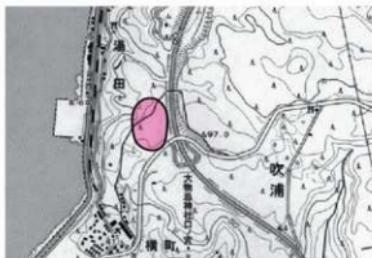
40 三崎遺跡(北から)



40 三崎遺跡



41 谷地之子遺跡



41 小屋林道西遺跡



41 谷地之子遺跡(東から)



41 小屋林道西遺跡（南から）



42 弥陀之上遺跡（南西から）



43 水林下遺跡（北西から）



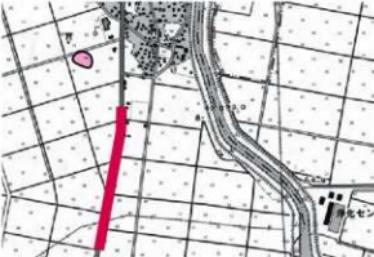
44 一般国道7号興野地区事故対策（南から）



42 弥陀之上遺跡



43 水林下遺跡



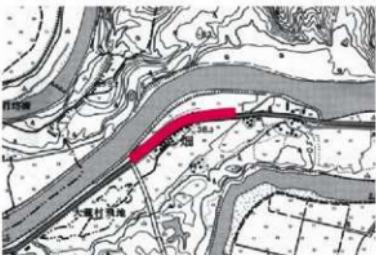
44 土橋遺跡



45 一般国道7号福岡交差点改良



45 一般国道7号福岡交差点改良(南から)



46 最上川直轄河川改修事業(最上川中流)



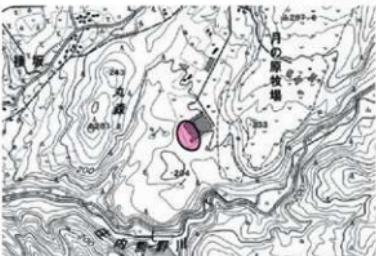
46 最上川直轄河川改修事業(最上川中流)(西から)



47 沢の内沢2砂防堰堤



47 沢の内沢2砂防堰堤(北から)



48 月野原C遺跡



48 月野原C遺跡(北から)

2 試掘調査の概要

(1) 露藤遺跡

所在 地 山形県高畠町大字露藤

調査員 竹田純子 岩崎恒平 長橋至

調査期日 令和2年11月17日、24日、12月1日、8日、15日、22日、令和3年2月2日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）亀岡西地区

遺跡立地 標高：約220m、立地：自然堤防、地目：田・畑

試掘区 事業予定地のうち、遺跡可能性地内にトレンチ28箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 385.8m²

検出遺構 溝跡、土坑、柱穴、掘立柱建物跡、竪穴状遺構

出土遺物 須恵器片・土師器片

所見 当該地は最上川と天王川の合流地点右岸の自然堤防上に位置し、令和2年4月に実施した踏査において、古代の土器片を採取した範囲であり、遺跡可能性地Iとして試掘調査を実施した。

事業地内にトレンチ1～28を設定し、重機で表土等を除去した後に、人力で遺構・遺物の有無を精査した結果、トレンチ1～18、20～23、25、27、28において、溝跡・土坑・柱穴・掘立柱建物跡・竪穴状遺構などの遺構と、須恵器片・土師器片など古代の遺物が確認された。トレンチ24・26では、耕作土直下で地山が検出され、削平を受けた状況を確認した。

トレンチ24・26が位置する東西に走る農道より北側については、遺跡は所在しない又は削平されたと考えられる。

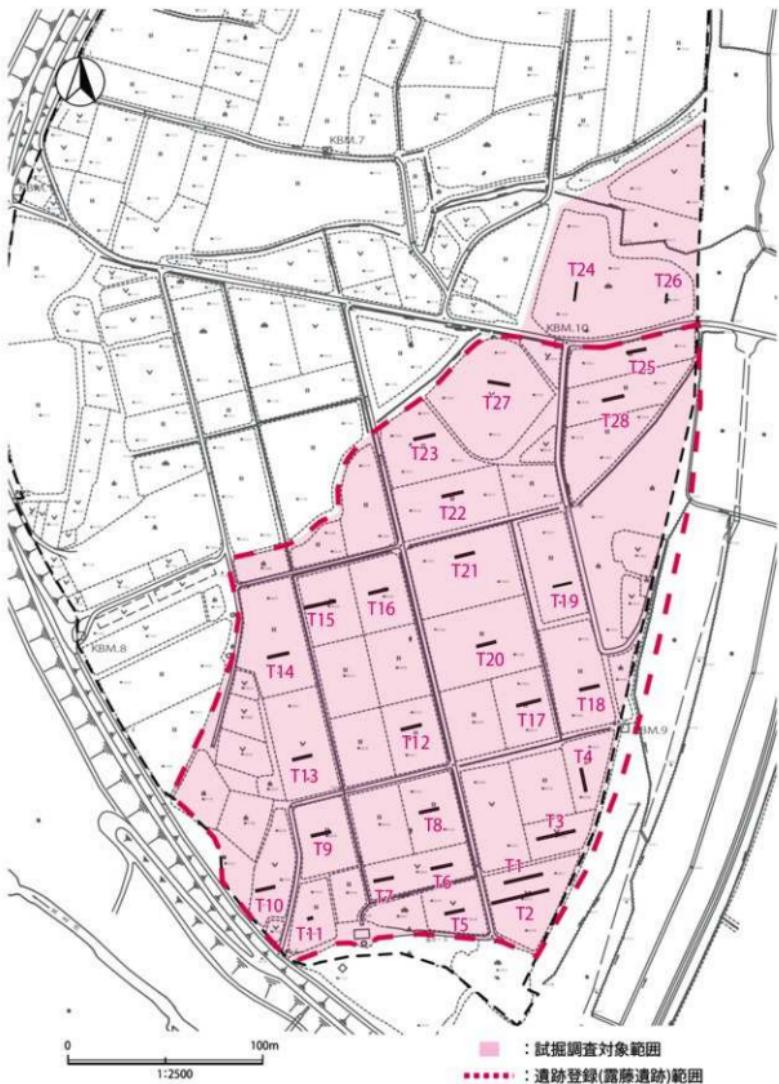
遺跡可能性地Iのうち、トレンチ1～23、25、27、28が位置する範囲（東西に走る農道より南側）を「露藤遺跡」として新たに遺跡登録を行った。



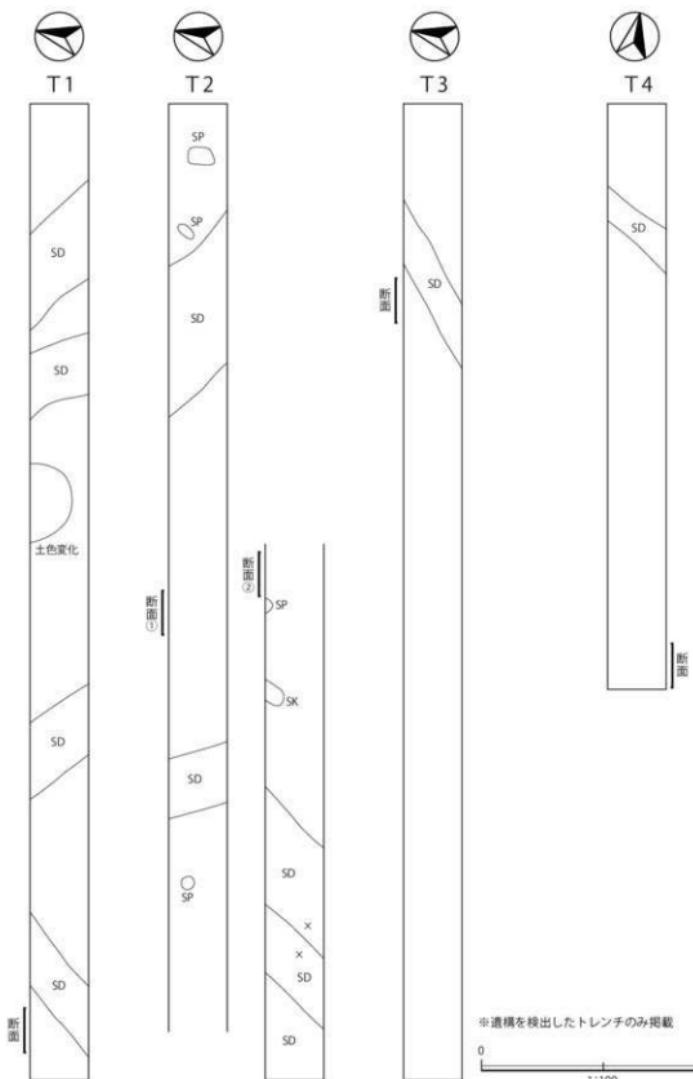
T 1 全景及び溝状遺構検出状況（西から）



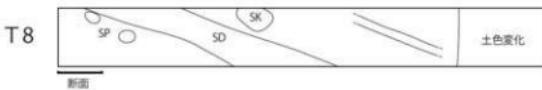
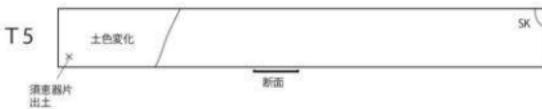
T 1 断面（南から）



露藤遺跡 トレンチ配置図



露藤遺跡 遺構検出平面図



※遺構を検出したトレンチのみ掲載



露藤遺跡 遺構検出平面図

II 調査の概要



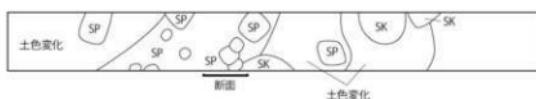
T 12



T 13



T 14



T 15



SP ○

SP ○

断面(1)

断面(2)

T 16



T 17



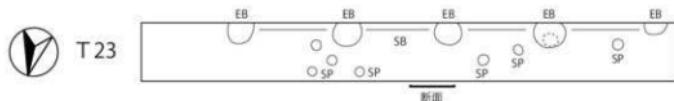
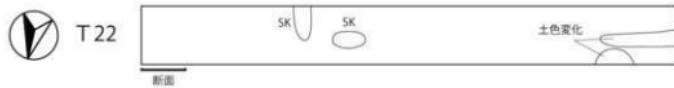
T 18



※遺構を接出したトレンチのみ掲載



露藤遺跡 遺構検出平面図



※遺構を検出したトレンチのみ掲載



露藤遺跡 遺構検出平面図

II 調査の概要

T1 (cm)		T9 (cm)	
1 -20	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.灰黃褐色シルト（地山）	1 -10	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
2		2 -15	3.黒褐色シルト、炭を含む
		3 -25	4.灰黃褐色シルト（地山）
		4 -35	
T2 (cm)		T10 (cm)	
1 -20	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.灰黃褐色シルト（地山）	1 -20	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.黒褐色シルト
2 -25		2 -40	3.灰黃褐色シルト（地山）
		3	
T3 (cm)		T11 (cm)	
1 -15	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.灰黃褐色シルト	1 -10	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.灰黃褐色シルト（地山）
2 -30	3.黒褐色シルト		
3 -45	4.灰黃褐色シルト（地山）		
4			
T4 (cm)		T12 (cm)	
1 -10	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.黒褐色シルト	1 -10	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.褐灰色シルト
2 -20	3.灰黃褐色シルト（地山）	2 -15	3.黒褐色粘質シルト
3 -25		3 -45	4.にぶい黄橙色粘質シルト（地山）
		4	
T5 (cm)		T13 (cm)	
1 -10	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む	1 -10	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.褐灰色シルト
2 -14	3.黒褐色シルト、炭を含む	2 -15	3.黒褐色粘質シルト
3 -27	4.灰黃褐色シルト（地山）	3 -45	4.にぶい黄橙色粘質シルト（地山）
4 -40		4	
T6 (cm)		T14 (cm)	
1 -15	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む	1 -15	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
2 -30	3.黒褐色シルト、炭を含む	2 -20	3.褐灰色シルト、にぶい黄橙色土 ブロックを含む
3 -45	4.灰黃褐色シルト、炭を含む（地山）	3 -30	4.にぶい黄橙色粘質シルト（地山）
4		4	
T7 (cm)		T15 (cm)	
1 -15	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む	1 -15	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
2 -20	3.黒褐色シルト	2 -20	3.黒色粘質シルト（落込み等土色変化）
3 -30	4.黒褐色シルト、炭を含む	3 -40	4.にぶい黄橙色粘質シルト（地山）
4 -55	5.灰黃褐色シルト（地山）	4	
5			
T8 (cm)		T16 (cm)	
1 -10	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む	1 -5	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
2 -15	3.黒褐色シルト、炭を含む	2 -10	3.褐灰色シルト、炭化物・にぶい 黄橙色土ブロックを含む
3 -40	4.黒褐色粘質シルト	3 -40	4.にぶい黄橙色粘質シルト（地山）
4 -55	5.灰黃褐色シルト（地山）	4 -45	
5			
		T17 (cm)	
		1 -15	1.暗褐色シルト（耕作土） 2.褐灰色シルト
		2 -22	3.にぶい黄橙色砂質シルト（地山）
		3 -25	

露藤遺跡 土層図

T 18 (cm)	
1	-15
2	-25
3	-30

1. 暗褐色シルト（耕作土）
2. 褐灰色シルト、炭化物を含む
3. にぶい黄褐色砂質シルト（地山）

T 19 (cm)	
1	-15
2	-20
3	-40
4	

1. 暗褐色シルト（耕作土）
2. にぶい黄褐色シルト
3. 黒褐色シルト、マンガン粒を含む
4. にぶい黄褐色粘質シルト（地山）

T 20 (cm)	
1	-10
2	-20
3	-30
4	

1. 暗褐色シルト（耕作土）
2. 黄褐色シルト、酸化鉄を含む
3. 褐灰色シルト、マンガン粒を含む
4. 灰黄褐色粘質シルト（地山）

T 21 (cm)	
1	-10
2	-20
3	-30
4	-35
5	-55
6	

1. 暗褐色シルト（耕作土）
2. 褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3. 褐灰色シルト、マンガン粒を含む
4. にぶい黄褐色シルト
5. 黄褐色シルト、マンガン粒を含む
6. 灰黄褐色粘質シルト（地山）

T 22 (cm)	
1	-10
2	-15
3	-23
4	-40
5	

1. 暗褐色シルト（耕作土）
2. 褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3. 褐灰色シルト
4. 黑褐色シルト
5. にぶい黄褐色シルト（地山）

T 23 (cm)	
1	-20
2	-40
3	

1. 暗褐色シルト（耕作土）
2. 黑褐色シルト
3. 灰黄褐色シルト（地山）

T 24 (cm)	
1	-10
2	-15

1. 暗褐色シルト（耕作土）
2. にぶい黄褐色シルト（地山）

T 25 (cm)	
1	-10
2	-45
3	-55

1. 暗褐色シルト（耕作土）
2. 褐灰色シルト
3. にぶい黄褐色シルト（地山）

T 26 (cm)	
1	-22
2	-30

1. 暗褐色シルト（耕作土）
2. にぶい黄褐色シルト（地山）

露藤遺跡 土層図



T 2 全景及び溝状遺構検出状況(西から)



T 2 断面①(南から)



T 6 全景(西から)



T 6 断面(南から)



T 6 柱穴検出状況(北西から)



T 9 遺構検出状況(南東から)



T 9 断面(南から)



T 11 遺構検出状況(北西から)



T 11 断面(北から)



T 13 全景(西から)



T 13 断面(南から)



T 13 遺構検出状況(南東から)



T 16 全景(東から)



T 16 断面(南から)



T 16 遺構検出状況(北東から)



T 17 遺構検出状況(西から)



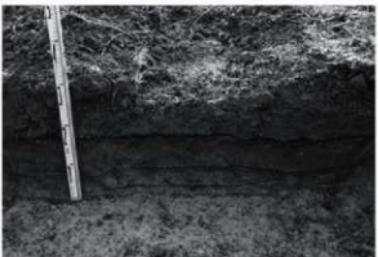
T 17 断面(北から)



T 17 遺構検出状況(南東から)



T 18 全景(西から)



T 18 断面(北から)



T 18 溝状遺構検出状況 (南東から)



T 21 全景 (東から)



T 21 断面 (南から)



T 23 全景 (北西から)



T 23 断面 (北から)



T 23 挖立柱建物跡検出状況 (西から)



T 23 挖立柱建物跡 柱穴検出状況 (北から)



T 24 全景 (南西から)



T 25 全景 (西から)



T 25 断面 (南から)



T 28 遺構検出状況 (西から)



T 28 断面 (北から)



T 1 出土遺物



T 2 出土遺物



T 5 土坑出土遺物



T 8 出土遺物

(2) 漆山地区遺跡可能性地1

所在 地 山形県南陽市大字漆山

調査員 竹田純子 稲村圭一 山科樹生

調査期日 令和2年10月30日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）漆山地区

遺跡立地 標高：約229m 立地：沖積地、自然堤防 地目：田

試掘区 事業予定地内にトレーナー7箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 112.0m²

検出遺構 なし

出土遺物 繩文土器片、須恵器片、土師器片

時代 一

所見 当該地は、令和2年3月に実施した踏査において遺物を採取したことから「遺跡可能性地1」とし、その範囲内において遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施した。

事業地内にトレーナー7箇所を設定して調査を行ったところ、トレーナー2～4、7において遺物（繩文土器、土師器、須恵器等）が出土したが、出土状況から流れ込みによるものと判断された。遺構は確認されなかった。その他のトレーナーからは、遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。



漆山地区遺跡可能性地1 トレーナー配置図

T1 (cm)	
1 -15	1.耕作土
2 -21	2.暗灰色砂、 ϕ 2~3mmの礫を含む
3 -33	3.褐灰色砂、黄褐色砂を縞状に含む
4 -40	4.褐灰色砂質シルト、黄褐色砂を縞状に含む
5 -	5.黄灰色砂、黄褐色砂を縞状に含む

T2 (cm)	
1 -3	1.耕作土
2 -11	2.暗灰色砂、 ϕ ~2mmの礫を含む
3 -22	3.黒褐色砂、有色鉱物混じる、 ϕ ~2mmの礫を含む
4 -	4.黒褐色砂、 ϕ 3~4mmの礫を含む

T3 (cm)	
1 -3	1.耕作土
2 -17	2.黒褐色砂、遺物を含む
3 -	3.褐灰色砂、明黄褐色砂を含む

T4 (cm)	
1 -8	1.耕作土
2 -28	2.褐灰色砂質シルト、灰黃褐色砂を含む
3 -47	3.黒褐色砂質シルト、明褐色シルト ブロックを含む
4 -	4.褐灰色砂

T5 (cm)	
1 -15	1.耕作土
2 -25	2.褐灰色砂
3 -47	3.灰色砂質シルト
4 -75	4.黒褐色植物泥炭層
5 -	5.褐灰色砂

T6 (cm)	
1 -10	1.耕作土
2 -37	2.褐灰色砂、灰白色シルトを含む
3 -51	3.黄灰色砂質シルト
4 -66	4.褐灰色砂質シルト、灰白色シルト を含む
5 -	5.黄灰色砂

T7 (cm)	
1 -3	1.耕作土
2 -29	2.黄灰色砂
3 -51	3.黄灰色砂質シルト、遺物を含む
4 -	4.褐灰色砂利層

漆山地区遺跡可能性地 1 土層図



T 1 全景(北から)



T 1 断面(西から)



T 2 全景(南西から)



T 2 断面(北西から)



T 3 全景 (南西から)



T 3 断面 (南東から)



T 4 全景 (南西から)



T 4 断面 (南東から)



T 6 全景 (西から)



T 6 断面 (南から)



T 7 全景 (東から)



T 7 断面 (南から)

(3) 三光堰西1期地区遺跡可能性地

所在地 山形県舟形町大字長者原

調査員 竹田純子 長橋至

調査期日 令和2年11月10日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）三光堰西地区

遺跡立地 標高：約74m 立地：河岸段丘 地目：田

試掘区 事業予定地内にトレント4箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 128.0m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 一

所見 事業地は、JR舟形駅から西に約5km、最上小国川右岸の河岸段丘上に位置し、事業地の南側で最上小国川と最上川が合流する。試掘調査対象地は、平成30年11月に実施した踏査において、縄文土器と考えられる土器片を採取したことから設定した「遺跡可能性地」である。

遺跡可能性地とその西側において、トレント4箇所を設定し、調査を行った。その結果、いずれのトレントにおいても遺構・遺物は確認されず、当該地に遺跡は所在しないものと判断された。



T1	(cm)	
1	-22	1.表土
2		2.黄褐色粘質シルト（地山）

T3	(cm)	
1	-10	1.表土
2	-32	2.黒褐色シルト
3	-58	3.黒色シルト
4		4.黄褐色粘質シルト（地山）

T2	(cm)	
1	-14	1.表土
2	-32	2.黒色シルト
3		3.黄褐色粘質シルト（地山）

T4	(cm)	
1	-15	1.表土
2	-40	2.黒色シルト
3		3.黄褐色粘質シルト（地山）



T 1 全景 (東から)



T 1 断面 (北から)



T 2 全景 (西から)



T 2 断面 (北から)



T 4 全景 (北から)



T 4 断面 (西から)

(4) 杉沢C遺跡、遺跡可能性地

所在 地 山形県遊佐町大字杉沢

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和2年11月5日、12日、19日、26日、12月3日、7日、10日、14日、23日、
令和3年1月22日、27日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）杉沢前田地区

遺跡立地 標高：約83 m、立地：谷底平野、地目：田

試掘区 事業予定地に17箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 541.0m²

検出遺構 土坑、柱穴、遺物包含層

出土遺物 繩文土器片、石器、須恵器片、土師器片、陶器片

時代 繩文時代、奈良・平安時代、中世、近世

所見 事業地は庄内熊野川の左岸で、今回試掘調査の対象となった杉沢C遺跡及び遺跡可能性地の標高は約77～85 m、東から西に緩く傾斜する。

事業地内に、令和元度に実施した試掘調査のトレンチ番号に続きトレンチ18～59を設定し、重機で表土等を除去した後に、人力で遺構・遺物の有無を精査した。

試掘調査の結果、トレンチ25・31・32・33・35・36・51で土坑・柱穴・遺構の可能性がある土色変化を確認し、縄文土器片・石器・須恵器片・土師器片・陶器片が出土した。須恵器片・土師器片が出土したことにより、当地ではこれまで確認されていなかった古代の遺跡があることが判明した。また、トレンチ34・43・44・45・46・53・55・56で縄文土器片・須恵器片が出土したが、出土状況から元位置を保たないものと判断された。

試掘調査及び令和2年度発掘調査の結果を受けて、杉沢C遺跡の範囲の内うち遺構・遺物が確認された範囲について令和3年度に発掘調査を実施予定。対象範囲は、令和2年度発掘調査区の南東側と西側となる。

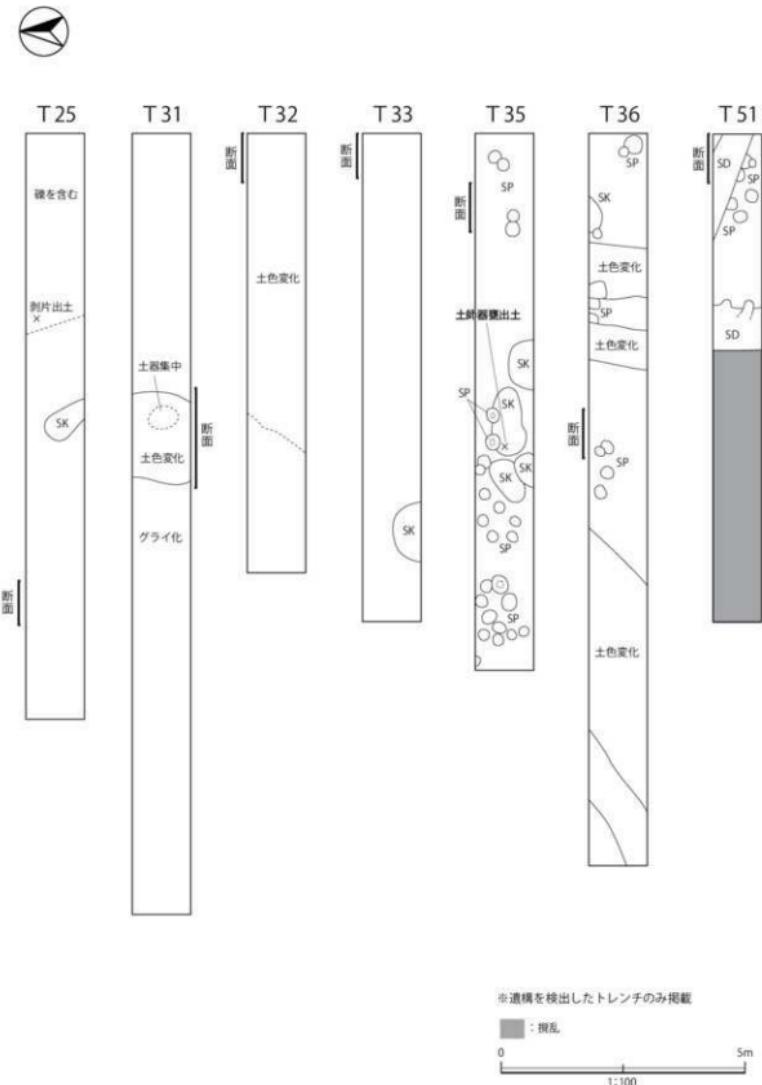


T 19 全景(東から)



T 21 全景(西から)





杉沢C遺跡・遺跡可能性地 遺構検出平面図

T18 (cm)	
1	-15
2	-25
3	-40
4	-45

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト、砂・ ϕ 5~10cmの礫を含む
3.黒褐色シルト、炭を含む
4.にぶい黄色砂質シルト（地山）

T19 (cm)	
1	-15
2	-50
3	-60
4	

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト、砂・ ϕ 5~10cmの礫を含む
3.黒褐色シルト、炭を含む
4.にぶい黄色砂質シルト（地山）

T20 (cm)	
1	-15
2	-30
3	-55
4	-60

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト、砂・ ϕ 5~10cmの礫を含む
3.黒色シルト、下層ににぶい黄色砂質シルトが混じる
4.にぶい黄色砂質シルト（地山）

T21 (cm)	
1	-15
2	-30
3	-50

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト、砂・礫を含む
3.にぶい黄色砂質シルト、 ϕ 30~50cmの礫を含む（地山）

T22 (cm)	
1	-15
2	-45
3	-55

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト
3.黒褐色シルト、砂を含む

T23 (cm)	
1	-15
2	-35
3	-45

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト、 ϕ 5cmの礫を含む
3.暗褐色砂質シルト、 ϕ ~40cmの礫を含む

T24 (cm)	
1	-12
2	-23
3	-30

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.灰黄褐色シルト、酸化鉄を含む
3.にぶい黄橙色砂質シルト

T25 (cm)	
1	-15
2	-36
3	-40
4	-45

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト
3.明褐色砂質シルト、炭化物を含む
4.にぶい黄色砂質シルト、炭化物を含む（地山）

T26 (cm)	
1	-15
2	-40
3	-70
4	-75

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.客土
3.黒褐色シルト、酸化鉄を含む
4.にぶい黄色砂質シルト

T27 (cm)	
1	-15
2	-25
3	-35
4	-60
5	

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色砂質シルト、酸化鉄を含む
3.黒褐色シルト
4.黑色粘質シルト
5.灰黄色粘質シルト、酸化鉄を含む

T28 (cm)	
1	-15
2	-20
3	-30

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト
3.にぶい黄色砂質シルト、 ϕ ~15cmの礫を含む（地山）

T29 (cm)	
1	-15
2	-25
3	-30

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト、 ϕ ~3cmの礫を含む
3.にぶい黄色砂質シルト、酸化鉄を含む

T30 (cm)	
1	-10
2	-20
3	-40
4	

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3.灰黄褐色シルト、 ϕ ~20cmの礫を含む
4.青灰色砂質シルト、 ϕ ~20cmの礫を含む

T31 (cm)	
1	-15
2	-25
3	-30

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト、にぶい黄色砂質シルト・炭化物を含む
3.にぶい黄色砂質シルト

T32 (cm)	
1	-15
2	-55
3	

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト、小礫・炭化物を含む
3.灰色砂質シルト、炭化物を含む

T33 (cm)	
1	-20
2	-50
3	

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト、炭化物を含む
3.灰色砂質シルト

T34 (cm)	
1	-20
2	-45
3	-50

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト
3.灰色砂質シルト

杉沢C遺跡・遺跡可能性地跡 土層図

T35 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト、炭化物を含む 3.にぶい黄橙色砂質シルト	T44 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト 3.黄灰色シルト、炭化物・砂を含む 4.暗灰色粘質シルト、炭化物・砂・未分解の有機物・遺物を含む 5.灰色砂
T36 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト 3.にぶい黄橙色砂質シルト	T45 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト 3.にぶい黄橙色シルト、酸化鉄を多く含む 4.褐色シルト、炭・砂・遺物を含む 5.黒褐色粘質土、炭を含む 6.にぶい黄橙色シルト
T37 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト 3.灰色砂質シルト、酸化鉄・有色鉱物を含む	T46 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト、酸化鉄を含む 3.灰色シルト、小礫・黒色粘土が混じる (客土) 4.灰色粘土、炭化物・小礫を含む
T38 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト 3.灰黄褐色シルト、酸化鉄を含む 4.褐色シルト、酸化鉄を含む 5.にぶい黄橙色砂質シルト、φ~30cm の礫を含む	T47 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト 3.灰色粘質シルト、炭化物を含む 4.灰黄色砂質シルト、炭化物・未分解の有機物を含む
T39 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト、小礫・炭化物・酸化鉄を含む 3.褐色シルト 4.灰黄褐色粘質シルト、酸化鉄・明黄褐色土ブロックを含む 5.にぶい黄橙色砂質シルト、φ~40cm の礫を含む	T48 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト 3.灰色粘土 4.灰白色粘土
T40 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト、小礫・酸化鉄を含む 3.灰色シルト、小礫・炭化物・酸化鉄を含む 4.青灰色砂質シルト	T49 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト 3.灰黄褐色シルト、黒色粘土・炭化物が混じる (客土) 4.にぶい黄橙色シルト
T41 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト、小礫・炭化物・酸化鉄を含む 3.青灰色砂質シルト、灰黄色褐色粘土が混じる 4.混じる、φ~50cm の礫を含む	T50 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト、明黄褐色土シルト 3.黑色シルト 4.褐色シルト、酸化鉄を多く含む、硬くしまる
T42 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト、砂・小礫を含む 3.灰色砂、褐色粘土が混じる	T51 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.にぶい黄橙色シルト
T43 (cm)	1.灰黄褐色シルト (耕作土) 2.褐色シルト、小礫を含む 3.灰色粘土、砂を含む		

杉沢C遺跡・遺跡可能性地 土層図

II 調査の概要

T 52 (cm)	
1 -17	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -24	2.褐色シルト
3 -42	3.にぶい黄褐色シルト

T 53 (cm)	
1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -30	2.褐色シルト
3 -60	3.黒褐色砂質シルト、炭化物・遺物を含む
4 -70	4.にぶい黄褐色砂質シルト

T 54 (cm)	
1 -20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -35	2.褐色シルト
3 -75	3.黄灰色砂質シルト
4 -90	4.にぶい黄褐色細砂、 $\phi \sim 5\text{cm}$ の礫を含む

T 55 (cm)	
1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -25	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3 -50	3.灰黄褐色シルト、 $\phi \sim 5\text{cm}$ の礫を含む
4 -75	4.灰色シルト、硬くしまる、下層に $\phi \sim 30\text{cm}$ の礫を含む
5 -85	5.灰色細砂、炭化物を含む

T 56 (cm)	
1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -30	2.褐色シルト
3 -70	3.灰黄褐色シルト、 $\phi \sim 20\text{cm}$ の礫を含む
4 -110	4.黒褐色シルト、炭化物・遺物を含む
5 -	5.黄灰色砂質シルト

T 57 (cm)	
1 -20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -45	2.褐色シルト
3 -90	3.褐色シルト、炭化物・人頭大の 礫を含む
4 -100	4.灰色細砂、 $\phi \sim 10\text{cm}$ の礫を含む

T 58 (cm)	
1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -50	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3 -70	3.黒褐色粘質シルト、炭化物を含む
4 -	4.黄灰色粘質シルト、未分解の有機物 を含む

T 59 (cm)	
1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -50	2.褐色シルト
3 -70	3.黄灰色粘質シルト、黒褐色粘質 シルト、人頭大の礫を含む
4 -80	4.灰色砂、 $\phi \sim 3\text{cm}$ の礫を含む

杉沢C遺跡・遺跡可能性地 土層図



T 25 全景(南から)



T 25 断面(東から)



T 25 土坑検出状況



T 31 全景(北から)



T 31 落込み検出状況（北西から）



T 31 落込み遺物出土状況（北東から）



T 32 土色変化検出状況（南西から）



T 32 石器出土状況



T 33 全景（北から）



T 33 断面（東から）



T 33 土坑検出状況（南西から）



T 34 全景（北から）



T 34 断面 (東から)



T 35 全景 (南から)



T 35 断面 (東から)



T 35 中央部遺構検出状況 (南西から)



T 35 土坑遺物出土状況



T 36 全景 (北から)



T 36 断面 (東から)



T 36 遺構検出状況 (南東から)



T 41 全景(北から)



T 43 全景(南から)



T 45 全景(南から)



T 45 断面(西から)



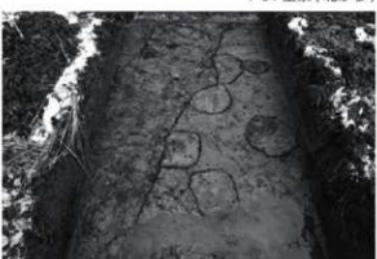
T 48 全景(南から)



T 51 全景(北から)



T 51 断面(東から)



T51 北側遺構検出状況(北から)



T 53 全景(北から)



T 53 断面(西から)



T 55 全景(南から)



T 56 全景(北から)



T 25 出土遺物



T 31 出土遺物



T 32 出土遺物



T 35 土坑出土遺物

(5) 後谷地遺跡、サナミ坂窯跡隣接地

所在地 山形県遊佐町大字当山

調査員 竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平

調査期日 令和2年11月6日、13日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）当山1期地区

遺跡立地 【後谷地遺跡】標高：約52～54m、立地：丘陵、地目：田

【サナミ坂窯跡】標高：約52m、立地：丘陵、地目：田

試掘区 後谷地遺跡及び周辺に8箇所、サナミ坂窯跡隣接地に2箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 【後谷地遺跡】62.4m²、【サナミ坂窯跡隣接地】12.8m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 【後谷地遺跡】縄文時代、【サナミ坂窯跡】縄文時代・平安時代

所見 農地整備事業に起因して、11月6日にサナミ坂窯跡南側隣接地、11月6日・13日に後谷地遺跡の試掘調査を実施した。事業予定地内にトレンチ10箇所を設定して調査を行った。その結果、サナミ坂窯跡南側隣接地、後谷地遺跡のいずれにおいても、遺構・遺物は確認されなかった。後谷地遺跡東側の標高が高い範囲については削平されており、西側については粘土層が堆積している状況が確認された。

T1 (cm)
1 -22 1.灰黄褐色シルト（表土）
2 -40 2.にぶい黄橙色粘土（客土）
3 -60 3.灰白色粘土（客土）
4 -140 4.灰白色粘土と黒色粘土が混ざる（客土）
5 -60 5.黒褐色粘土、未分解の有機物を含む
6 -60 6.灰白色粘土

T5 (cm)
1 -20 1.耕作土
2 -35 2.暗褐色泥炭層
3 -60 3.灰色粘土

T2 (cm)
1 -15 1.灰黄褐色シルト（表土）
2 -40 2.褐灰色シルト
3 -85 3.にぶい黄橙色粘土
4 -100 4.灰白色粘土

T6 (cm)
1 -6 1.耕作土
2 -24 2.暗褐色粘土、炭を含む
3 -60 3.灰色粘土

T3 (cm)
1 -10 1.耕作土
2 -20 2.にぶい黄橙色粘土
3 -30 3.灰色粘土、黄褐色粘土が混じる

T7 (cm)
1 -17 1.耕作土
2 -24 2.黄橙色粘質シルト

T4 (cm)
1 -25 1.耕作土
2 -145 2.灰色粘土

T8 (cm)
1 -22 1.耕作土
2 -35 2.黄橙色粘質シルト

後谷地遺跡 土層図

II 調査の概要

T1	(cm)	
1	-25	1.褐灰色シルト（表土）
2	-70	2.灰白色粘土

T2	(cm)	
1	-10	1.褐灰色シルト（表土）
2	-70	2.褐灰色粘質シルト、 ϕ 30~50cmの礫を含む
3		3.灰色粘土、 ϕ 10cmの礫を含む

サナミ坂窯跡隣接地 土層図



後谷地遺跡T 2 全景（西から）



後谷地遺跡T 2 断面（南から）



後谷地遺跡T 4 全景（南から）



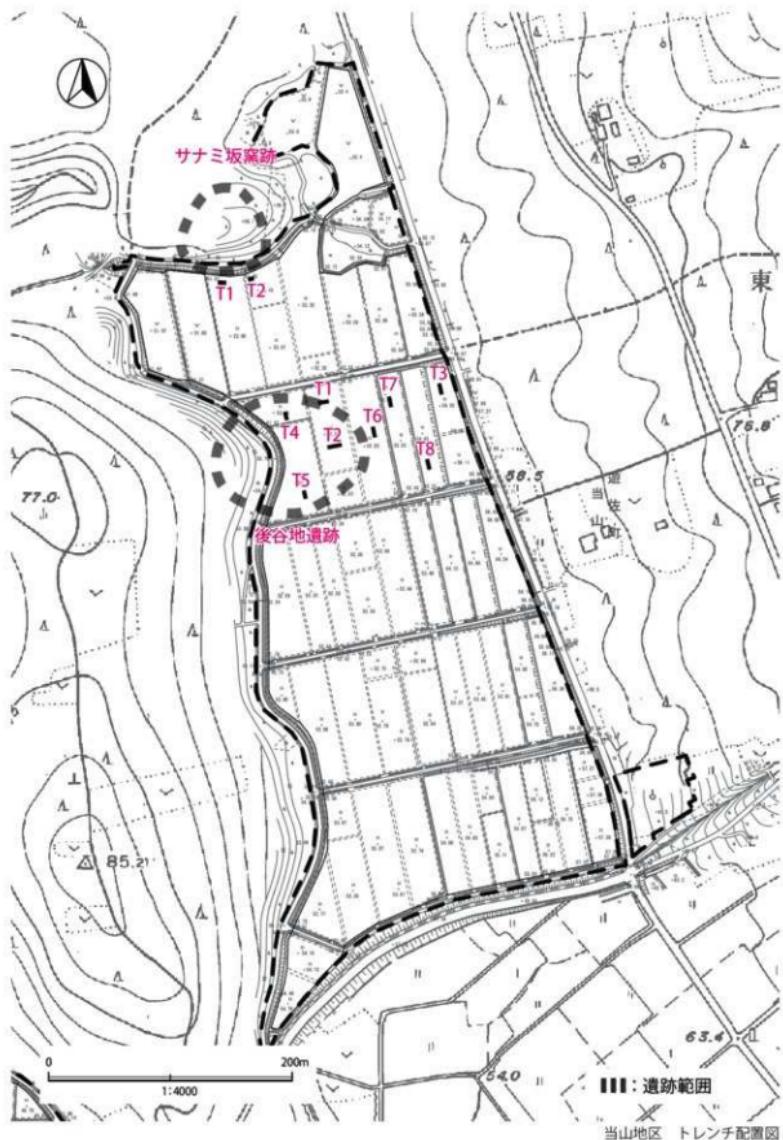
後谷地遺跡T 4 断面（西から）



後谷地遺跡T 5 全景（南東から）



後谷地遺跡T 5 断面（東から）



II 調査の概要



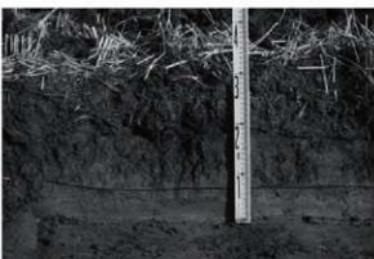
後谷地遺跡T 6 全景(北から)



後谷地遺跡T 6 断面(西から)



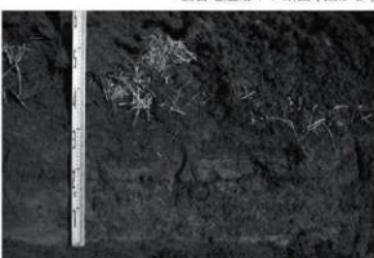
後谷地遺跡T 7 全景(北から)



後谷地遺跡T 7 断面(西から)



後谷地遺跡T 8 全景(北から)



後谷地遺跡T 8 断面(西から)



サナミ坂窯跡隣接地T 1 全景(東から)



サナミ坂窯跡隣接地T 1 断面(南から)

(6) 原の内 A 遺跡

所在地 山形県尾花沢市大字鶴子

調査員 岩崎恒平 山科樹生 長橋至

調査期日 令和2年11月30日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）鶴子六沢地区

遺跡立地 標高：約235m、立地：河岸段丘、地目：田

試掘区 事業予定地に3箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 38.25m²

検出遺構 竪穴建物跡、炉跡、土坑、ピット

出土遺物 繩文土器片、石器

時代 繩文時代、平安時代

所見 試掘対象地は丹生川左岸の河岸段丘上に位置する水田である。原の内A遺跡は、昭和48年度に県立博物館が簡易水道建設工事に伴って現地調査を実施している。また、昭和55年度に県営ほ場整備事業で、昭和57年度には県道改良工事、昭和62・63年度には幹線用水路造成工事に伴い、県教育委員会が合計3回の発掘調査を行っており、いずれも縄文時代中期を主体とした遺構・遺物が数多く確認されている。

事業予定地のうち、調整水槽を設置する範囲にトレンチ1～3を設定して調査を行ったところ、いずれのトレンチにおいても縄文時代の遺構・遺物が確認された。

トレンチ1では、土坑4基、ピット1基、炉跡と考えられる焼土1箇所を検出した。遺物は2層及び遺構から縄文時代中期の土器が多量に出土したほか、石冠と考えられる遺物も出土している。トレンチ2では、焼土を伴う竪穴建物跡と考えられる遺構1基、土坑2基、土色変化2箇所を検出した。遺物は2・4層及び遺構から縄文時代中期の土器が多量に出土した。トレンチ3では、焼土を伴う竪穴建物跡と考えられる遺構1基、土坑3基を検出した。遺物は5・6層及び遺構から縄文時代中期の土器が多量に出土した。なお、6層は土坑等の遺構覆土であると考えられる。

T1 (cm)

1	15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	35	2.褐灰色シルト、炭化物・細礫・酸化鉄・遺物を含む
3		3.明黄褐色微砂質土

T2 (cm)

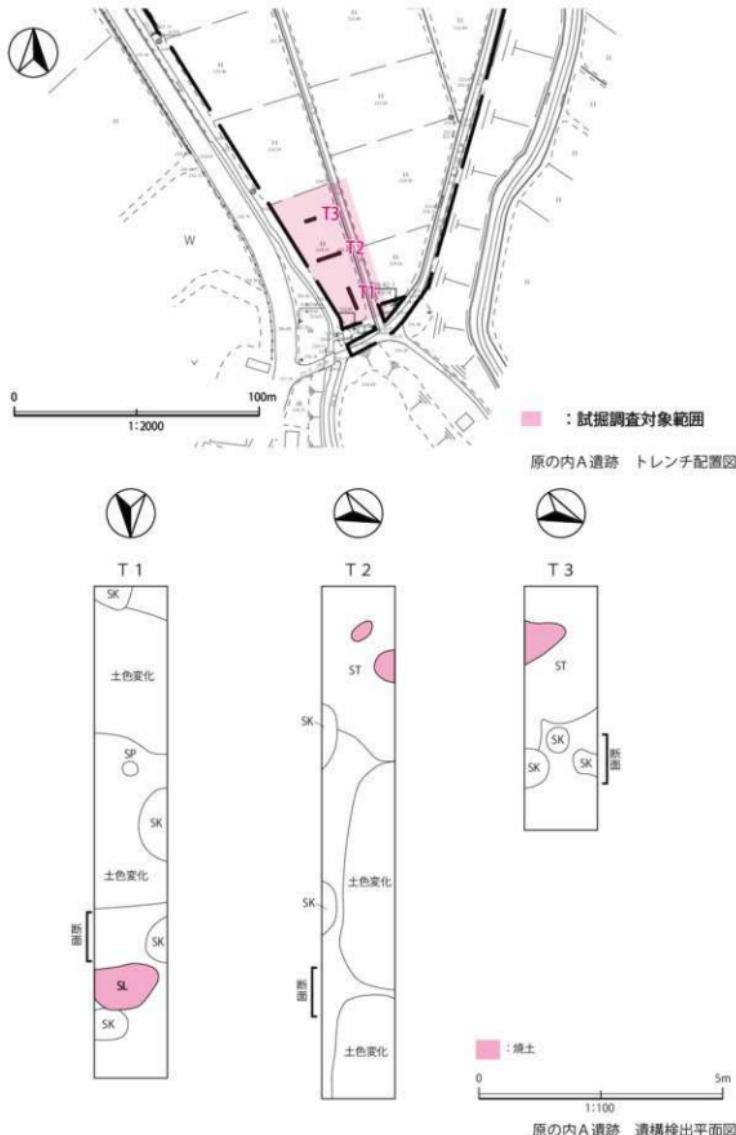
1	10	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	15	2.褐灰色シルト、炭化物・細礫・酸化鉄・遺物を含む
3	20	3.黒褐色シルト、炭化物を含む
4	45	4.黒褐色微砂質土、炭化物・遺物を含む
5		5.明黄褐色微砂質土

T3 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-25	2.褐灰色シルト、炭化物・細礫・酸化鉄・遺物を含む
3	-30	3.暗褐色シルト、明黄褐色土が斑状に混じる
4	-40	4.黒色シルト
5	-50	5.黒褐色シルト、φ～3cmの礫・炭化物・遺物を含む
6	-65	6.褐灰色シルト（遺構覆土か）
7	-70	7.明黄褐色微砂質土

原の内A遺跡 土層図

II 調査の概要





T1 全景 (南から)



T1 断面 (西から)



T1 爐跡検出状況 (南西から)



T1 石冠出土状況 (北東から)



T2 全景 (南から)



T2 断面 (北から)



T2 穫穴建物跡検出状況 (南東から)



T2 焼土検出状況 (北東から)



T 3 全景(西から)



T 3 断面(南から)



T 3 壁穴建物跡検出状況(北東から)



T 3 土坑検出状況(北から)



T 1 出土遺物



T 1 出土遺物(石冠)



T 2 出土遺物



T 3 出土遺物

(7) ~~大橋~~遺跡

所在地 山形県遊佐町大字小原田字大橋

調査員 竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平

調査期日 令和2年12月11日・18日・25日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）大橋地区

遺跡立地 標高：約15m、立地：自然堤防、扇状地、氾濫原、地目：田

試掘区 事業予定地に15箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 142.2m²

検出遺構 溝状遺構、ピット

出土遺物 須恵器系陶器片

時代

所見 試掘対象地は月光川左岸の扇状地の扇端部、自然堤防の微高地に位置している。大橋遺跡はこれまでに昭和62年から平成2年にかけて、4次に渡る発掘調査が実施されている。調査成果から、平安時代末期から室町時代にかけての遊佐荘の莊家に関連する重要な遺跡とされ、遺跡範囲の約60万m²のうち、遺跡の中核にあたる60aが平成7年に遊佐町の指定史跡となっている。事業地は町指定史跡外であるが、史跡のすぐ西側にあたる。

事業予定地内にトレンチ1～15を設定して調査を行った結果、トレンチ2において溝状遺構1基・ピット2基、須恵器系陶器1点を確認した。また、トレンチ15において須恵器系陶器1点が出土したが、土層の堆積状況から流れ込みによるものと判断された。その他のトレンチにおいては、過去の区画整備により削平・客土が厚く堆積している、又は洪水・旧河道等による砂礫層が堆積しており、遺構・遺物は確認されなかった。

トレンチ2において遺構・遺物が確認されたことから、トレンチ2付近のみ、発掘調査（記録保存調査）が必要となる。

T1	(cm)
1	10
2	15
3	40
4	45

- 1.灰黄褐色シルト（耕作土）
- 2.褐色シルト
- 3.灰黄褐色シルト
- 4.にぶい黄褐色砂質シルト、酸化鉄を含む

T3	(cm)
1	-20
2	-25
3	-35
4	-45

- 1.灰黄褐色シルト（耕作土）
- 2.褐色シルト、酸化鉄を含む
- 3.灰黄褐色シルト、明黄褐色粘土が混じる
- 4.にぶい黄褐色砂質シルト、酸化鉄を含む

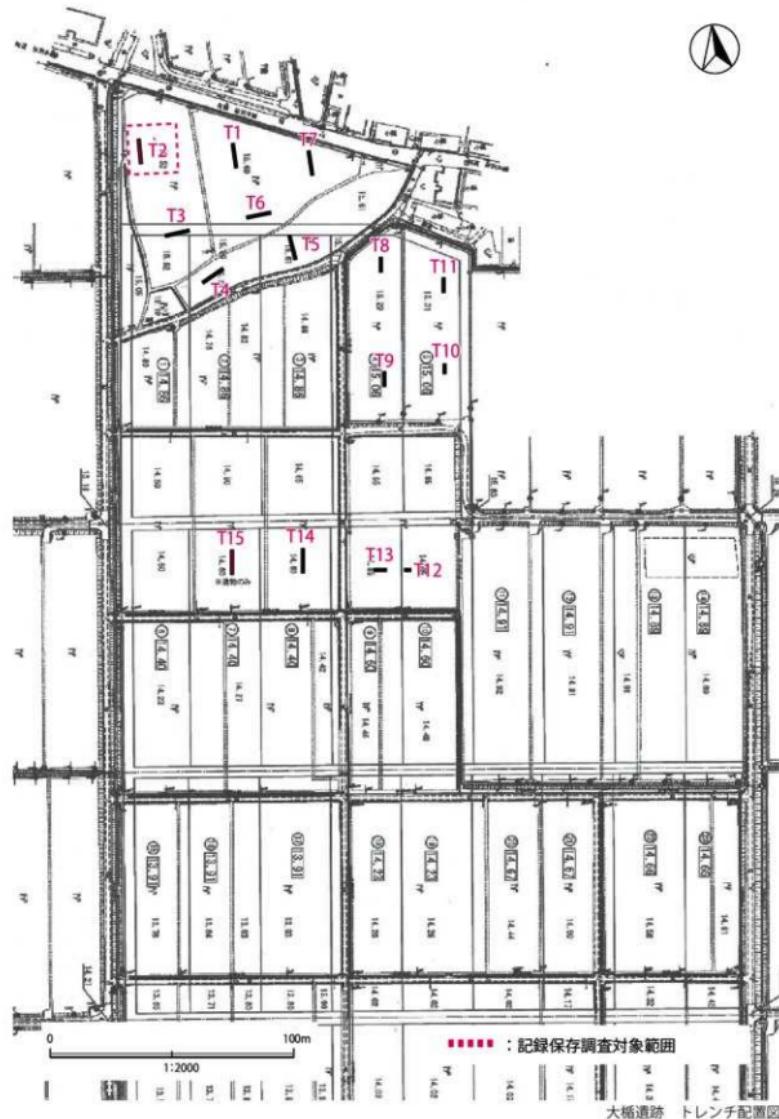
T2	(cm)
1	10
2	20
3	30
4	40

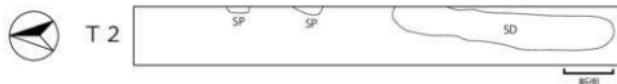
- 1.灰黄褐色シルト（耕作土）
- 2.褐色シルト、酸化鉄を含む
- 3.灰黄褐色シルト、炭化物・小礫含む
- 4.にぶい黄褐色砂質シルト、酸化鉄を含む

T4	(cm)
1	-15
2	-25
3	-35
4	-40
5	-50
6	

- 1.灰黄褐色シルト（耕作土）
- 2.褐色シルト、酸化鉄を含む
- 3.褐色シルト、にぶい黄褐色粘土が混じる
- 4.褐色シルト
- 5.灰黄褐色シルト
- 6.にぶい黄褐色砂質シルト、酸化鉄を含む

大橋遺跡 土層図





※遺構を検出したトレンチのみ掲載

0 5m
1:100

大橋遺跡 遺構検出平面図

T5 (cm)

1	-20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-25	2.褐灰色シルト
3	-32	3.灰黄褐色シルト
4	-40	4.に、ぶい黄橙色砂質シルト、酸化鉄を含む

T11 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-25	2.褐灰色シルト、酸化鉄・小礫を含む
3	-35	3.灰黄褐色シルト、砂、φ～20cmの礫を含む（客土）
4		4.黄灰色砂質シルト、炭化物を含む

T6 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-25	2.褐灰色シルト
3	-45	3.灰黄褐色シルト、炭化物・明黄褐色土ブロックを含む
4		4.に、ぶい黄橙色砂質シルト、酸化鉄を含む

T12 (cm)

1	-10	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-15	2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-80	3.灰黄褐色シルト、礫を含む（客土）
4		4.礫層

T7 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-25	2.褐灰色シルト
3	-35	3.に、ぶい黄橙色砂質シルト、酸化鉄を含む

T13 (cm)

1	-10	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-15	2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-50	3.暗褐色シルト、φ～30cmの礫を含む（客土）
4	-60	4.に、ぶい黄橙色砂質シルト、酸化鉄に富む

T8 (cm)

1	-20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-30	2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-45	3.黄灰色シルト、礫を含む（客土）
4	-80	4.灰色シルト、小礫を含む（客土）
5		5.黄灰色砂質シルト、炭化物を含む

T14 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-25	2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-35	3.灰黄褐色シルト（客土）
4	-45	4.礫層
5		

T9 (cm)

1	-20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-30	2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-80	3.灰黄褐色シルト、砂、φ～20cmの礫を含む（客土）
4		4.黄灰色砂質シルト、炭化物を含む

T15 (cm)

1	-20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-25	2.褐灰色シルト
3	-45	3.褐灰色粘質シルト
4	-60	4.黄灰色砂質シルト
5		5.灰色砂

T10 (cm)

1	-20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-30	2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-80	3.灰黄褐色シルト、砂、φ～20cmの礫を含む（客土）
4		4.黄灰色砂質シルト、炭化物を含む

大橋遺跡 土層図



T 1 全景(南から)



T 1 断面(東から)



T 2 全景(北から)



T 2 断面(東から)



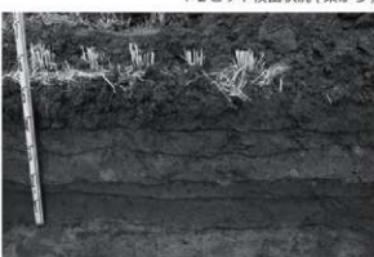
T 2 溝状遺構検出状況(北西から)



T 2 ピット検出状況(東から)



T 4 全景(南西から)



T 4 断面(北東から)



T 5 全景 (南東から)



T 5 断面 (南西から)



T 6 全景 (南西から)



T 6 断面 (南東から)



T 7 全景 (北から)



T 7 断面 (西から)



T 8 全景 (北から)



T 8 断面 (北から)



T 10 全景 (北から)



T 10 断面 (東から)



T 13 断面 (西から)



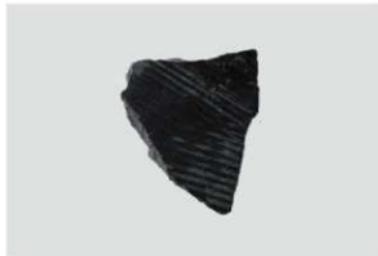
T 13 断面 (南から)



T 15 全景 (北から)



T 15 断面 (東から)



T 2 出土遺物



T 15 出土遺物

(8) 山形城三の丸跡

所在地 山形県山形市七日町～本町

調査員 竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平 山科樹生

調査期日 令和2年8月6日、9月9日、令和3年2月25日、3月3日

起因事業 都市計画道路事業 旅籠町八日町線

遺跡立地 標高：約142m、立地：扇状地、地目：道路用地

試掘区 事業予定地に11箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 77.86m²

検出遺構 竪穴建物跡、溝状遺構、焼土遺構、柱穴

出土遺物 土師器片

時代 中世、近世

所見 都市計画道路事業旅籠町八日町線（第2期）に起因して、事業予地において4回の試掘調査を実施した。事業地は、山形城三の丸跡内に位置しており、旅籠町八日町線（第1期）においても記録保存調査が実施されている。

事業予定地に11箇所のトレンチを設定して調査を行ったところ、トレンチ1・2において土坑が検出され、土坑からは古代の土師器片が出土した。トレンチ2は攪乱を受けおり、部分的に遺構が残る状態である。トレンチ3・4では遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ5では、竪穴建物跡と考えられる遺構を3棟（または2棟）検出した。遺構からは古代の土師器片が出土した。

トレンチ6・7では河川堆積層が確認された。トレンチ8の東側では河川堆積層が確認され、西側では地山面で柱穴と考えられる遺構を検出した。当遺構は半斬したが、遺物は出土しなかった。トレンチ9では、覆土に多量の焼土を含む遺構が確認された。遺物は出土しなかった。トレンチ10では、溝跡が確認され、古代の土師器片が出土した。トレンチ11では、竪穴建物跡が確認され、古代の土師器片が出土した。

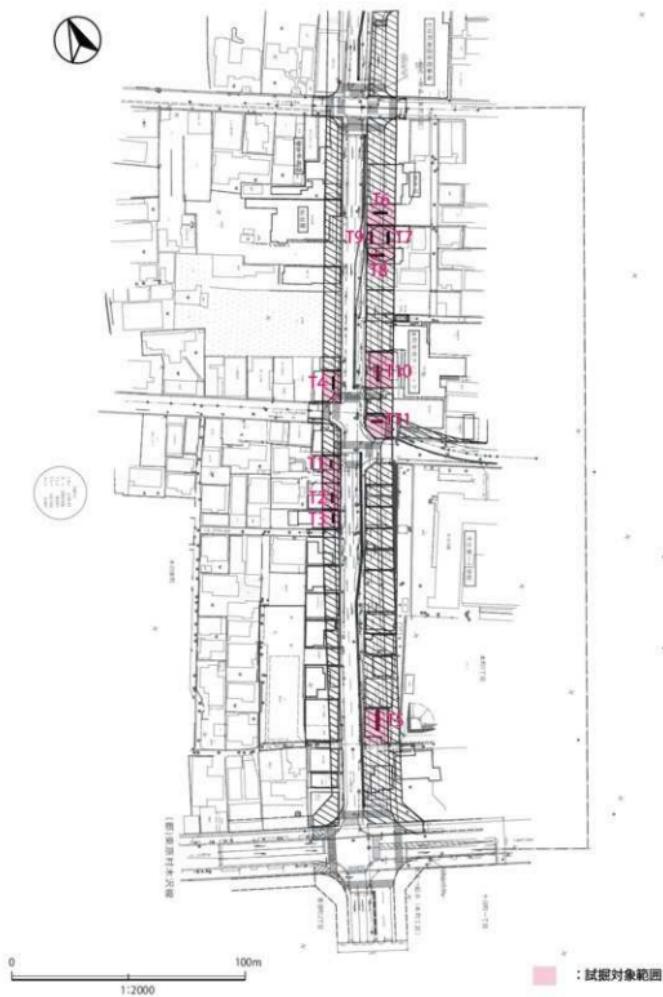
試掘調査の結果、トレンチ1・2・5・8・9・10・11において遺構や遺物が確認されたことから、当該トレンチが位置する範囲については記録保存調査が必要となる。



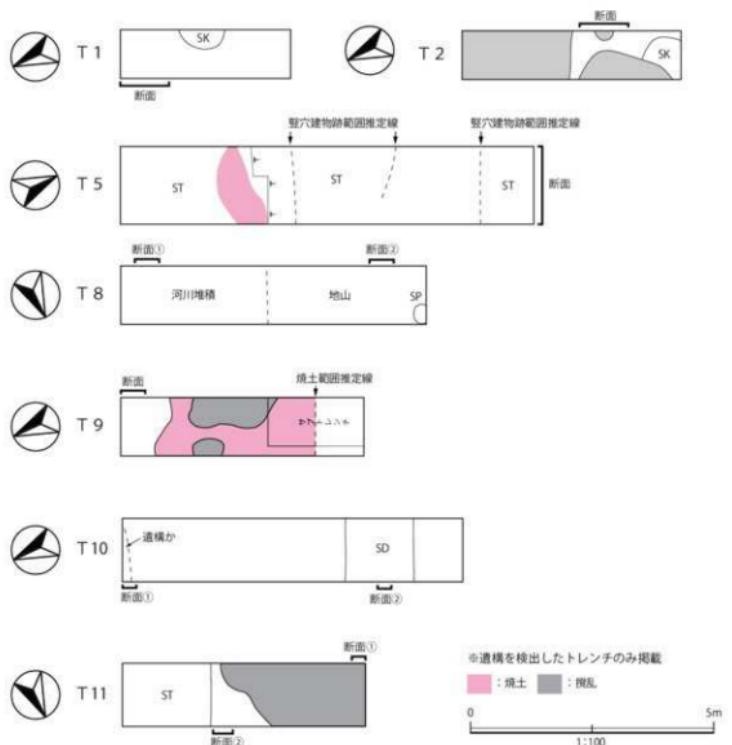
T1全景(南から)



T1断面(東から)



山形城三の丸跡 トレンチ配置図



山形城三の丸跡 遺構検出平面図



T 1 土坑検出状況 (北西から)



T 2 遺構検出状況 (南西から)

T1 (cm)	1.砂利 2.黒色シルト、上層にφ~5cmの礫を含む 3.暗褐色シルト、黒褐色シルトを含む 4.にぶい黄褐色砂質シルト	T8① (cm)	1.砂利 2.暗褐色シルト、礫を含む 3.暗褐色シルト、礫を含む、2層より 4.もしまり弱い 4.暗褐色砂・礫(河川堆積層)
T2 (cm)	1.砂利 2.黒色シルト、φ~5cmの礫を含む 3.にぶい黄褐色砂質シルト	T8② (cm)	1.砂利 2.暗褐色シルト、礫を含む 3.暗褐色シルト、礫を含む、2層より 4.もしまり弱い 4.黄褐色砂質シルト(地山)
T3 (cm)	1.砂利 2.黒色シルト、φ~5cmの礫を含む(埋土) 3.暗褐色シルト、φ30cmの礫を含む(埋土) ※以下、沸水のため掘削不可	T9 (cm)	1.黒褐色シルト、礫含む(表土) 2.暗褐色シルト、礫含む 3.暗褐色シルト、2層よりももしまり強い
T4 (cm)	1.砂利 2.黒色シルト、φ~10cmの礫を含む 3.黄褐色砂、φ5~10cmの円礫を含む (旧河道か)	T10①(cm)	1.暗褐色シルト(表土)・碎石 2.黄褐色シルト 3.黄褐色砂礫層
T5 (cm)	1.盛土 2.黒色シルト(堅穴建物跡覆土か) 3.黒褐色シルト(堅穴建物跡覆土か) 4.にぶい黄褐色砂、φ5~20cmの礫を含む	T10②(cm)	1.碎石 2.黒褐色シルト、礫含む(溝跡覆土)
T6 (cm)	1.砂利 2.暗褐色シルト、礫を含む 3.暗褐色シルト、礫を含む、2層よりも しまり強い 4.暗褐色砂・礫(河川堆積層)	T11①(cm)	1.暗褐色シルト、瓦礫含む(表土) 2.黒褐色シルトに礫、炭・白色砂等を 含む(埋土) 3.黄褐色砂
T7 (cm)	1.砂利 2.暗褐色シルト、礫を含む 3.暗褐色シルト、礫を含む、2層よりも しまり強い 4.暗褐色砂・礫(河川堆積層) 5.黄褐色砂(河川堆積層)	T11②(cm)	1.暗褐色シルト、瓦礫含む(表土) 2.黒褐色シルト 3.黄褐色砂



T 2 剖面 (西から)



T 5 全景 (北西から)



T 5 全景 (北東から)



T 5 竪穴建物跡焼土検出状況 (北西から)



T 5 剖面 (南から)



T 8 全景 (西から)



T 8 剖面② (北から)



T 8 ピット検出状況 (東から)



T 9 全景(北から)



T 9 断面(東から)



T 9 焼土検出状況(南西から)



T 10 全景(北から)



T 10 断面②(南から)



T 10 溝跡検出状況(北東から)



T 10 溝跡遺物出土状況



T 11 全景(西から)



T 10 断面②(南から)



T 11 竪穴建物跡検出状況(南から)



T 11 竪穴建物跡検出状況(南西から)



T 1 出土遺物



T 2 出土遺物



T 5 竪穴建物跡出土遺物



T 10 溝跡出土遺物



T 11 竪穴建物跡出土遺物

(9) 宮内遺跡隣接地

所在地 山形県新庄市五日町

調査員 竹田純子 稲村圭一

調査期日 令和3年1月28日

起因事業 都市計画道路事業北本町飛田線

遺跡立地 標高：約89m、立地：氾濫平野、地目：道路用地

試掘区 事業予定地に2箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 11.2m²

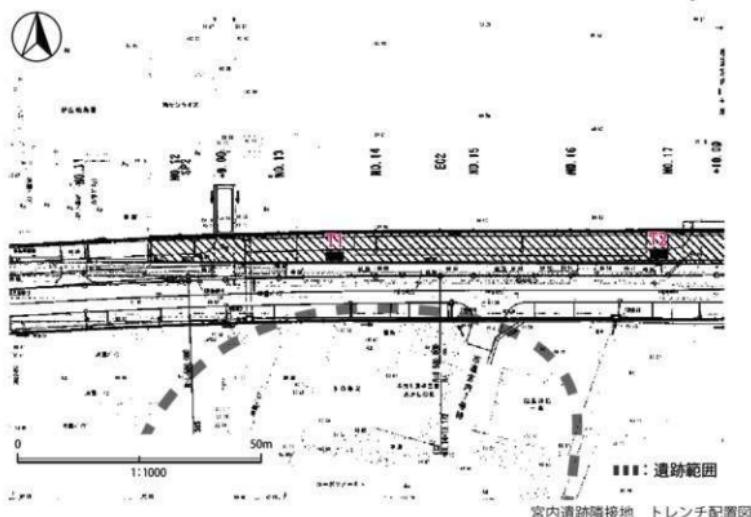
検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 一

所見 宮内遺跡は、戸前川と指首野川の合流地点から北東約1.3kmの微高地上に位置する縄文時代・平安時代の集落跡である。遺跡は、新庄警察署敷地のうち西側とさらに西側の宅地に広がる。試掘対象地は、宮内遺跡の南側を走る県道34号線を挟んだ南側で、県が道路用地として買収する前はコメリ駐車場であり、以前は水田であった。

事業予定地内にトレンチを2箇所設定して調査を実施したところ、両トレンチとも遺構・遺物は確認されなかった。基盤層は砂礫・粘質土と安定せず、県道を境に低地となることが確認された。宮内遺跡の範囲は、試掘対象地までは及ばないものと判断された。



T1 (cm)

1	-30	1. 暗褐色シルトに礫が混じる（表土）
2	-100	2. 暗褐色シルトと灰色粘質土が混じる、 プラスチック片含む（埋土）
3	-110	3. コンクリート（隣接する側溝基礎）
4	-200	4. 黄褐色・青灰色砂礫

T2 (cm)

1	-40	1. 暗褐色シルトに礫が混じる（表土）
2	-120	2. 暗褐色シルトと灰色・黒色粘質土、 礫が混じる（埋土）
3	-170	3. 青灰色粘質土に2層が混じる（埋土）
4	-200	4. 青灰色粘質土



試掘対象地（東から）



試掘調査実施状況（南東から）



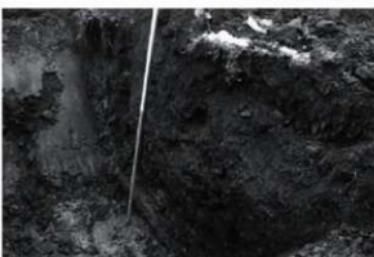
T1全景（東から）



T1断面（南西から）



T2全景（西から）



T2断面（北西から）

(10) 一般国道 13 号真室川雄勝道路遺跡可能性地

所 在 地 山形県真室川町大字及位字朴木沢

調 査 員 竹田純子 稲村圭一

調査期日 令和2年10月2日

起因事業 一般国道 13 号 真室川雄勝道路

遺跡立地 標高：約 286 ~ 292 m、立地：河岸段丘、地目：道、山林、雑種地

試 挖 区 事業予定地に 6箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 71.2m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時 代 一

所 見 遺跡可能性地は、令和元年10月に実施した踏査において確認されたもので、今回の試掘調査は、遺跡可能性地のうち町道朴木沢・雄勝線の西側について実施した。

遺跡可能性地にトレンチ6箇所を設定して調査を実施したこと、各トレンチとも遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ1・3は表土の下層が叩き締められており、地目が道である箇所に該当することから、現町道以前の旧道の痕跡と考えられる。トレンチ5・6を設定した平場は盛土造成によることが確認された。

遺跡可能性地のうち町道の東側については、今後試掘調査を実施予定。なお、旧道の痕跡については、現段階では近世以前に遡るものとは考えていないが、町道東側の試掘調査において近世以前の遺構・遺物が確認された場合は、旧道の痕跡についても併せて、保護の方法等その取扱いについて検討する。



T 1 (cm)	
1	-10
2	25
3	35
4	48
5	表土 2.灰黄褐色シルト、固くしまる 3.灰褐色シルト 4.黒色シルト 5.にぶい黄橙色シルト、礫が多く混じる (地山)

T 2 (cm)	
1	-45
2	1.表土 2.黒色シルト 3.にぶい黄橙色シルト、礫が多く混じる (地山)
3	

T 3 (cm)	
1	-15
2	25
3	55
4	1.表土 2.灰黄褐色シルト、固くしまる 3.黒色シルト 4.にぶい黄橙色シルト、礫が多く混じる (地山)

T 4 (cm)	
1	-10
2	25
3	3.にぶい黄橙色シルト、礫が多く混じる (地山)

T 5・6(cm)	
1	1.砂利・礫(盛土) -150

一般国道 13 号真室川雄勝道路遺跡可能性地 土層図



T 1 全景 (南から)



T 1 断面 (東から)



T 3 全景 (南から)



T 3 断面 (東から)



T 4 全景 (西から)



T 6 全景 (東から)

(11) 赤川中流部河道掘削事業文下地区遺跡可能性地

所 在 地 山形県鶴岡市大字文下字村ノ内

調 査 員 竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平 長橋至

調査期日 令和2年10月8日、29日

起因事業 赤川中流部河道掘削事業

遺跡立地 標高：約10m、立地：河岸段丘、地目：河川

試 挖 区 事業予定地に8箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 116.8m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時 代 一

所 見 当地は、赤川左岸の河岸段丘上であり、令和2年8月に実施した踏査において遺物を探取したことから、遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施した。

事業地内にトレンチ8箇所を設定して調査を実施した。なお、トレンチ1～4は令和2年度事業地、トレンチ5～8は令和3年度事業地となる。調査の結果、トレンチ2から土師器片1点が出土したが、河川堆積によるものと判断された。その他のトレンチからは、遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は存在しないものと判断された。



T1 全景 (西から)



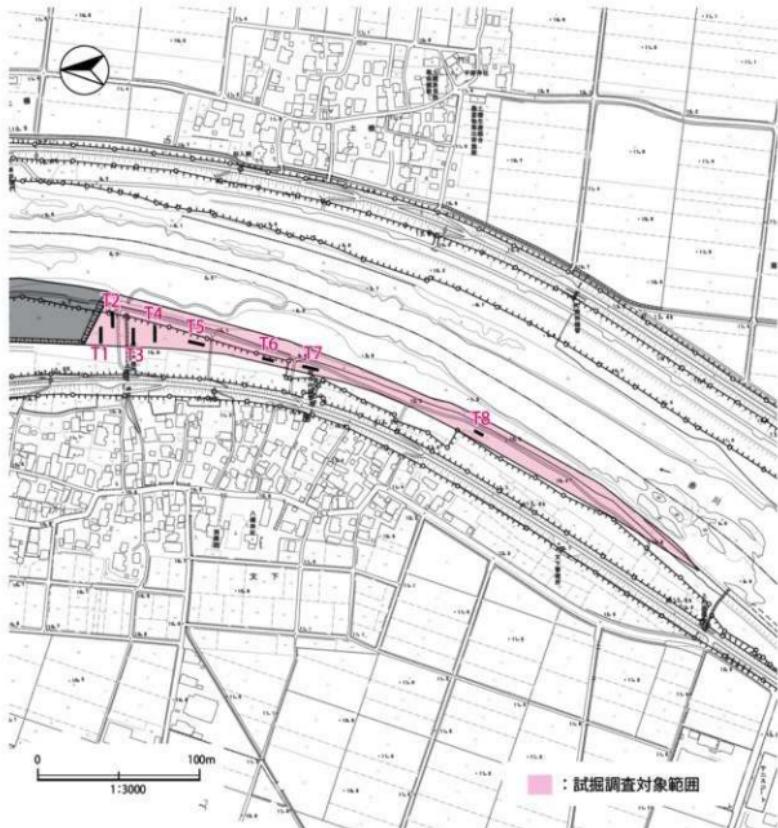
T1 断面 (北から)



T4 全景 (西から)



T4 断面 (北から)



赤川中流部河道掘削事業文下地区遺跡可能性地 トレンチ配置図



T 6 全景(南から)



T 6 断面(南西から)

II 調査の概要

T1 (cm)

1	-15	1.表土 2.にぶい黄橙色砂質シルト
2	-70	3.にぶい黄橙色砂質シルト、砂を含む
3	-100	4.2層と砂が互層となる
4	-170	5.にぶい黄橙色砂
5		

T2 (cm)

1	-15	1.表土 2.にぶい黄橙色砂質シルト、砂を含む
2	-60	3.にぶい黄橙色砂質シルト、下層に砂を 帶状に含む
3	-90	4.にぶい黄橙色砂質シルト、下層に砂を
4	-110	5.にぶい黄橙色砂質シルト、下層に砂を 帶状に含む
5	-140	6.にぶい黄橙色砂
6		

T3 (cm)

1	-20	1.表土 2.にぶい黄橙色砂質シルト
2	-70	3.にぶい黄橙色砂質シルト、砂を含む
3	-100	4.黄褐色砂質シルト
4	-115	5.にぶい黄橙色砂質シルト、炭・砂を 含む
5	-160	6.にぶい黄橙色砂
6		

T4 (cm)

1	-20	1.表土 2.にぶい黄橙色砂質シルト
2	-70	3.にぶい黄橙色砂質シルト、砂を多く含む
3	-130	4.黄褐色シルトと砂が互層となる
4	-270	5.にぶい黄橙色砂
5		

T5 (cm)

1	-25	1.表土 2.にぶい黄褐色砂質シルト
2	-100	3.にぶい黄褐色砂質シルト、炭を含む
3	-120	4.にぶい黄褐色砂質シルト
4	-170	5.にぶい黄褐色砂質シルト、砂を含む
5	-220	6.にぶい黄褐色砂質シルト、 褐色シルト・砂を含む
6	-250	7.にぶい黄橙色砂
7		

T6 (cm)

1	-10	1.表土 2.にぶい黄褐色砂質シルト
2	-50	3.にぶい黄褐色砂質シルトと砂が 互層となる
3	-150	4.にぶい黄褐色粘質シルト
4	-200	5.にぶい黄橙色砂、 $\phi 20\text{cm}$ の円礫を 多く含む
5	-250	6.にぶい黄橙色砂
6		

T7 (cm)

1	-20	1.表土 2.にぶい黄橙色シルト、砂・褐灰色
2	-180	3.粘土を含む(客土)
3	-240	4.にぶい黄褐色シルト、砂を含む
4	-250	4.にぶい黄橙色砂

T8 (cm)

1	-10	1.表土 2.にぶい黄橙色シルト、礫を含む
2	-100	(客土)
3	-260	3.青灰色粘質シルト ※以下、重機で掘削可能な深度を 超えたため掘削中止

赤川中流部河道掘削事業下地区遺跡可能性地 土層図



T 8 全景 (南から)



T 8 断面 (南西から)

(12) 赤川中流部河道掘削事業助川地区遺跡可能性地

所在地 山形県三川町大字助川

調査員 竹田純子 稲村圭一 山科樹生

調査期日 令和2年10月22日

起因事業 赤川中流部河道掘削事業

遺跡立地 標高：約11m、立地：河岸段丘、地目：河川

試掘区 事業予定地に4箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 64.0m²

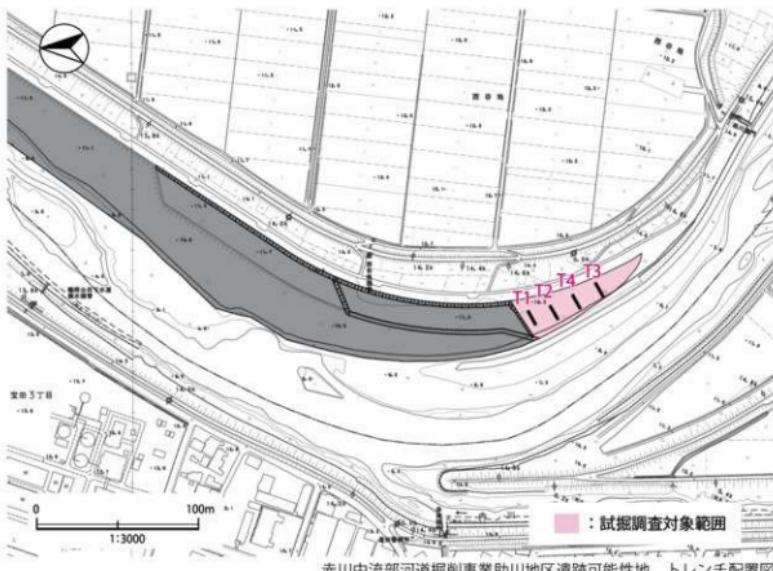
検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 一

所見 当地は、赤川右岸の河岸段丘上であり、令和2年8月に実施した踏査において遺物を探取したことから、遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施した。

事業地内にトレンチ4箇所を設定して調査を実施した。試掘調査の結果、トレンチ4から土師器片が出土したが、河川堆積によるものと判断された。その他のトレンチからは、遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は存在しないものと判断された。



II 調査の概要

T1	(cm)	
1	81	1.表土 2.褐色砂、にぶい橙色シルトを含む
2	61	3.明褐色砂
3	91	4.灰白色シルト、橙色シルトを含む
4	-118	5.灰黄褐色砂質シルト、灰色シルト ブロックを含む
5		

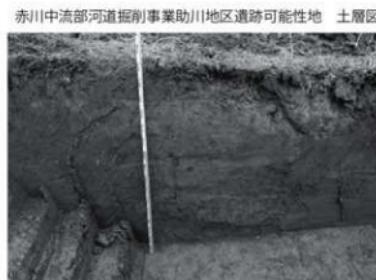
T3	(cm)	
1	-13	1.表土 2.にぶい黄褐色砂、褐色シルト
2	-53	3.プロック・灰白色砂を含む
3	-65	4.灰黄褐色砂シルト
4	-78	5.褐灰色砂質シルト、にぶい黄褐色砂 が斑状に混じる
5	-148	6.にぶい黄褐色砂、灰色シルトを含む
6		7.灰白色砂

T2	(cm)	
1	24	1.表土 2.灰褐色砂
2	67	3.灰黄褐色シルト、灰白色・橙色・
3	-143	4.黒褐色シルトブロックを多く含む
4	-161	5.褐灰色シルト、灰白色シルトを含む
5	-193	6.灰色粘質シルト、明褐色土を帯状に含む
6		

T4	(cm)	
1	-15	1.表土 2.にぶい黄褐色砂質シルト
2	-43	3.褐色砂質シルト、褐色・黄褐色
3	-125	4.シルトブロックを多く含む
4	-143	5.灰白色シルト、橙色シルトを 帶状に含む
5		6.青灰色粘質シルト



T 1 全景(南から)



T 1 断面(西から)



T 4 全景(北から)



T 4 断面(東から)

(13) 三崎遺跡

所在地 山形県遊佐町吹浦字三崎、秋田県にかほ市象潟町小砂川字三崎

調査員 竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平 山科樹生

調査期日 令和2年6月19日

起因事業 一般国道7号遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：約50m、立地：丘陵、地目：山林

試掘区 事業予定地に6箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 人力で試掘調査を実施。

試掘面積 6m²

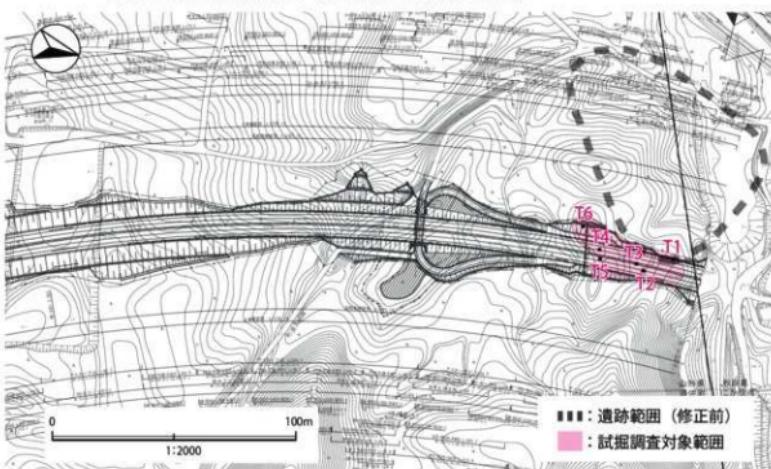
検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 縄文時代

所見 三崎遺跡は、秋田県教育委員会が県境を跨いで登録した遺跡である。遺跡に事業地が一部かかることから、遺跡とその隣接地（令和元年12月11日踏査の結果、遺跡可能性地とした範囲）について試掘調査を実施し、状況を確認した。

事業地に、1×1mのトレンチを6箇所設定し、人力で掘り下げて遺構・遺物の有無を精査したところ、各トレンチとも、約10cmの表土の下に、鳥海山の噴火による岩屑堆積物と考えられる岩のブロックや小片が堆積しており、遺構・遺物は確認されなかった。秋田県教育委員会が現地及び試掘結果を確認した結果、三崎遺跡の範囲を修正することとなり、県境は跨がず秋田県側だけが遺跡となる。



II 調査の概要

T 1 (cm)

1	-35
2	

- 1. 黒色シルト、植物根を含む（表土）
- 2. 黒色シルト、 $\phi \sim 40\text{cm}$ の礫及び礫碎片を含む

T 2 (cm)

1	-45
2	

- 1. 黒色シルト、植物根を含む（表土）
- 2. 黒色シルト、 $\phi \sim 40\text{cm}$ の礫及び礫碎片を含む

T 3 (cm)

1	-15
2	

- 1. 黒色シルト、植物根を含む（表土）
- 2. 黒色シルト、 $\phi \sim 40\text{cm}$ の礫及び礫碎片を含む

T 4 (cm)

1	-30
2	

- 1. 黒色シルト、植物根を含む（表土）
- 2. 黒色シルト、 $\phi \sim 40\text{cm}$ の礫及び礫碎片を含む

T 5 (cm)

1	-15
2	

- 1. 黒色シルト、植物根を含む（表土）
- 2. 黒色シルト、 $\phi \sim 40\text{cm}$ の礫及び礫碎片を含む

T 6 (cm)

1	-45
2	

- 1. 黒色シルト、植物根を含む（表土）
- 2. 黒色シルト、 $\phi \sim 40\text{cm}$ の礫及び礫碎片を含む

三崎遺跡 土層図



T 1 全景 (北から)



T 1 断面 (北から)



T 3 全景 (東から)



T 3 断面 (東から)



T 6 全景 (東から)



T 6 断面 (北から)

(14) 弥陀之上遺跡隣接地

所在地 山形県遊佐町吹浦字弥陀之上

調査員 稲村圭一 岩崎恒平

調査期日 令和2年9月11日

起因事業 一般国道7号遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：約25～28m、立地：丘陵、地目：宅地、畑、山林

試掘区 事業予定地に7箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 99.2m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 一

所見 弥陀之上遺跡は、県ホームページで公開中の「山形県遺跡地図」では、JR羽越本線女鹿駅から南に直線で約50m、国道7号線の南北に広がる遺跡である。

令和元年度の試掘調査において、遺跡と旧地形が残る遺跡隣接地に4箇所のトレンチ1を設定して調査したところ、遺構は検出されなかったものの、トレンチ1～3で流れ込みと考えられる古代の遺物細片が出土した。周辺に遺跡が所在する可能性が高いことから、今年度は令和元年度試掘調査地の北側において試掘調査を実施した。

事業地のうち旧地形が残ると考えられた範囲に7箇所のトレンチを設定して調査を実施したところ、トレンチ5～11のいずれにおいても、遺構・遺物は確認されなかった。

今回の試掘調査範囲については、弥陀之上遺跡の範囲には含まれないものと判断された。

T5 (cm)

1	-15	1. 黒色シルト、植物根を含む（表土）
2	-45	2. 黒色シルト
3	-55	3. 黒褐色シルト
4		4. にぶい黄褐色粘質シルト（地山）

T9 (cm)

1	-20	1. 黒色シルト、植物根を含む（表土）
2		2. にぶい黄褐色粘質シルト（地山）

T6 (cm)

1	-15	1. 黒色シルト、植物根を含む（表土）
2	-45	2. 黒色シルト
3	-55	3. 黒褐色シルト
4		4. にぶい黄褐色粘質シルト（地山）

T10 (cm)

1	-15	1. 黒色シルト、植物根を含む（表土）
2	-45	2. 黒色シルト
3	-55	3. 黒褐色シルト、地山ブロックを含む
4		4. にぶい黄褐色粘質シルト（地山）

T7 (cm)

1	-15	1. 黒色シルト、植物根を含む（表土）
2	-30	2. 黒色シルト
3		3. にぶい黄褐色粘質シルト（地山）

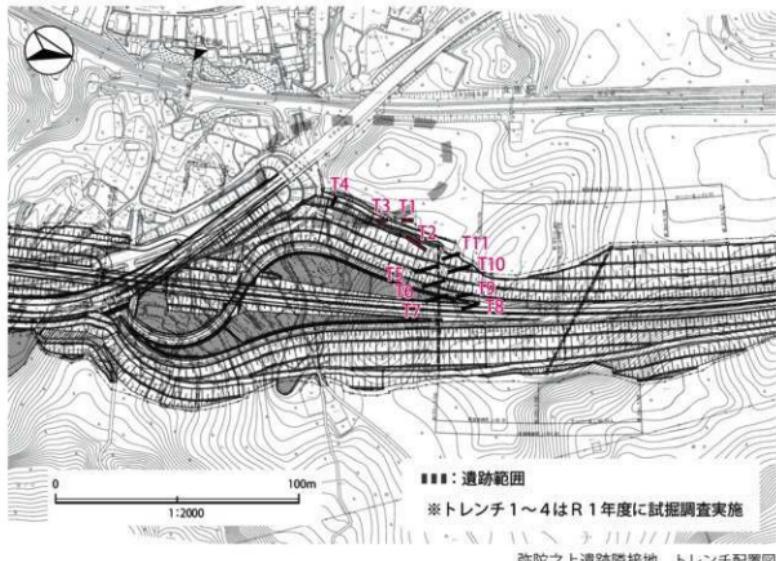
T11 (cm)

1	-15	1. 黒色シルト、植物根を含む（表土）
2	-50	2. 黒褐色シルト
3	-60	3. 黒色シルト
4	-70	4. 黑褐色シルト、地山ブロックを含む
5		5. にぶい黄褐色粘質シルト（地山）

T8 (cm)

1	-15	1. 黒色シルト、植物根を含む（表土）
2	-40	2. 黒色シルト

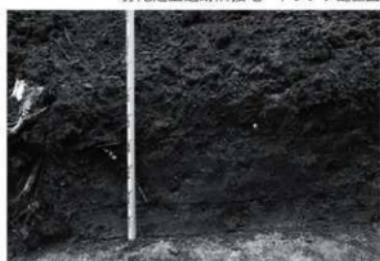
弥陀之上遺跡隣接地 土層図



弥陀之上遺跡隣接地 トレンチ配置図



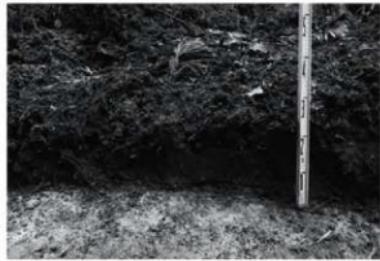
T 5 全景(北から)



T 5 断面(西から)



T 7 全景(北から)



T 7 断面(東から)



T 8 全景(南から)



T 8 断面(南から)



T 9 全景(南から)



T 9 断面(東から)



T 10 全景(南から)



T 10 断面(西から)



T 11 全景(南から)



T 11 断面(西から)

(15) 水林下遺跡

所 在 地 山形県遊佐町吹浦字水林下

調 査 員 竹田純子 長橋至 岩崎恒平

調査期日 令和2年8月18日、9月4日・18日、10月13日・20日

起因事業 一般国道7号遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：23 m、立地：山地・丘陵、地目：山林

試 挖 区 事業予定地に14箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 227.2m²

検出遺構 柱穴、土坑

出土遺物 土師器片、須恵器片

時 代 旧石器時代、奈良・平安時代、縄文時代

所 見 当地は、女鹿漁港から東に約300 mの丘陵である。現況は、畑地・杉林である。

当遺跡については、令和元年度に試掘調査を実施した結果、古代の遺構・遺物が確認されたことから記録保存調査が必要となり、今年度、(公財)山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した。発掘調査中に当初は想定していなかった旧石器が出土したことから、旧石器時代の発掘調査も実施することとした。

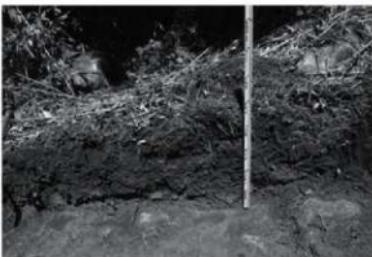
今回の試掘調査では、トレンチを14か所設定し、遺構・遺物の有無を精査した。調査区番号は、昨年度の試掘調査に統けて、トレンチ15～28とした。

試掘調査の結果、トレンチ19・20・21で遺構(柱穴(S P)・土坑(S K))と、遺構の可能性がある土色変化を確認した。トレンチ20の柱穴とトレンチ21の土坑から古代の土師器片が出土した。トレンチ19は北に、トレンチ21は北東に地山が傾斜する。その他のトレンチでは、遺構・遺物は確認されなかった。

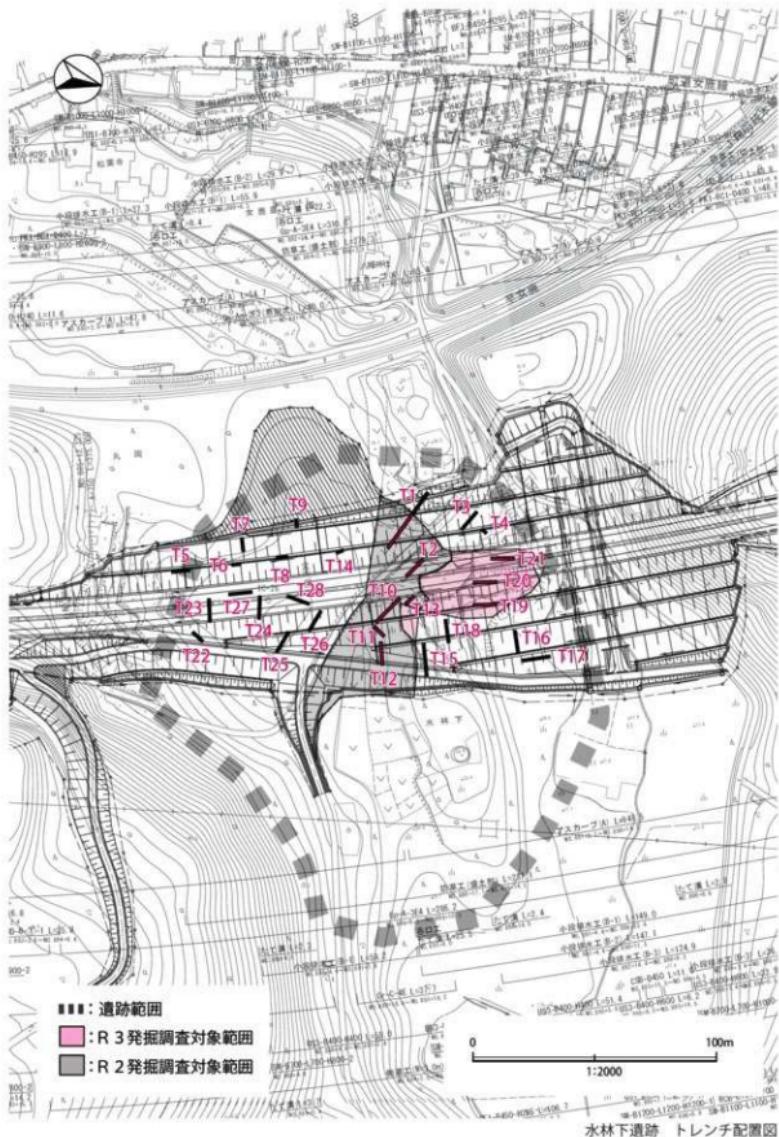
試掘調査の結果、遺構・遺物が確認された範囲とその南側(令和2年度発掘調査範囲に接する範囲)については記録保存が必要であり、事業実施前に発掘調査を実施予定。



T 15 全景(西から)



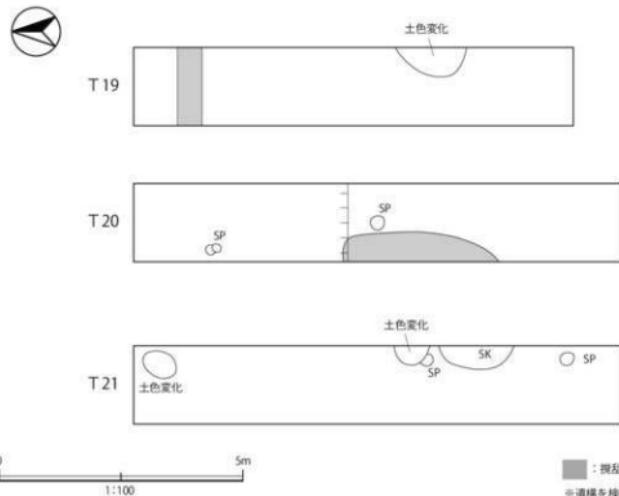
T 15 断面(南から)



II 調査の概要

T15 (cm)	1 -34 2 -46	1.表土 2.明黄褐色粘質シルト（地山）
T16 (cm)	1 -17 2	1.表土 2.明黄褐色粘質シルト（地山）
T17 (cm)	1 -16 2 -65 3 -73 4 -80	1.表土 2.黒褐色粘質シルト、炭化物粒を含む 3.黒褐色砂質シルト、地山を斑状に含む、 上層よりしまり強い 4.にぶい黄橙色粘質シルト（地山）
T18 (cm)	1 -60 2 -80 3 -87 4	1.表土 2.黒褐色粘質シルト、黄褐色土 ブロック含む 3.黒褐色砂質シルト、黄褐色土 ブロック含む 4.黄褐色粘質シルト（地山）
T19 (cm)	1 -12 2 -61 3 -74 4	1.表土 2.黒褐色粘質シルト、土器片含む、 黄褐色土ブロックを含む 3.黒褐色砂質シルト、黄褐色土 ブロック含む 4.黄褐色粘質シルト（地山）
T20 (cm)	1 -40 2	1.表土 2.黄褐色粘質シルト（地山）
T21 (cm)	1 -20 2 -30 3	1.表土 2.黒褐色シルト、黄褐色土ブロックを 含む 3.黄褐色シルト（地山）
T22 (cm)	1 -15 2 -55 3 -90 4 -100 5	1.表土 2.黒褐色シルト、植物根を多く含む 3.黒色シルト 4.黑色シルト、黄褐色土を含む 5.黄褐色シルト（地山）
T23 (cm)	1 -20 2 -62 3 -102	1.表土 2.黒褐色シルト、植物根を多く含む 3.明黄褐色シルト（地山）
T24 (cm)	1 -28 2 -89 3 -165 4 -181	1.表土 2.黒褐色砂質シルト、植物根を含む 3.黒色砂質シルト、植物根を少量含む 4.明黄褐色シルト（地山）
T25 (cm)	1 -35 2 -96 3 -138 4 -172	1.表土 2.黒褐色砂質シルト、植物根を含む 3.黒色砂質シルト、植物根を少量含む 4.明黄褐色シルト（地山）
T26 (cm)	1 -7 2 -26 3 -49 4 -60	1.表土 2.暗褐色シルト、植物根を多く含む 3.黒褐色シルト、植物根を少量含む 4.明黄褐色シルト（地山）
T27 (cm)	1 -40 2 -69 3 -102 4 -109	1.表土 2.暗褐色砂質シルト、植物根を 多く含む 3.黒褐色砂質シルト 4.明黄褐色シルト（地山）
T28 (cm)	1 -7 2 -27 3 -62 4 -91	1.表土 2.暗褐色砂質シルト、植物根を 多く含む 3.黒褐色砂質シルト 4.明黄褐色シルト（地山）

水林下遺跡 土層図

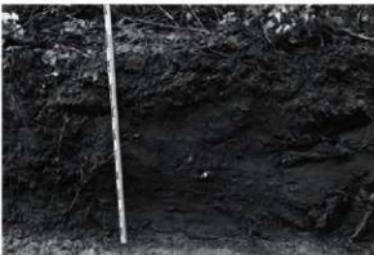


水林下遺跡 遺構検出平面図





T 18 全景 (東から)



T 18 断面 (南から)



T 19 全景 (南から)



T 19 断面 (西から)



T 19 土坑検出状況 (南西から)



T 19 土坑半裁状況 (北西から)



T 20 全景 (北から)



T 20 断面 (北から)



T 20 摂乱付近ピット検出状況(北東から)



T 20 西壁付近ピット検出状況(東から)



T 21 全景(南から)



T 21 断面(西から)



T 21 土坑・ピット検出状況(西から)



T 21 土坑出土遺物



T 22 全景(西から)



T 22 断面(南から)



T 24 全景 (東から)



T 24 断面 (西から)



T 25 全景 (東から)



T 25 断面 (南から)



T 26 全景 (東から)



T 26 断面 (西から)



T 28 全景 (北から)



T 28 断面 (南から)

第Ⅲ章 遺跡の登録と修正

1 範囲修正、名称変更

令和2年度に範囲修正及び名称変更を行った遺跡は7件であり、いずれも市町教育委員会及び山形県からの届出によるものである。内訳は範囲修正が6件（表中1～6）、範囲修正が1件（表中7）である。詳細については、新規登録の遺跡と併せて、「令和2年度範囲修正・新規登録遺跡一覧」として掲載した。

2 新規登録

令和2年度に新規登録された遺跡は5件あり（8～12）、いずれも南陽市教育委員会及び山形県からの届出によるものである。

これにより、年度末までに登録されている遺跡は5,214件を数える事になった。

なお、現在「山形県遺跡地図」（県WebPage掲載）の「市町村の遺跡一覧」に修正履歴や調査履歴などを掲載する改善作業を行なっている。

令和2年度範囲修正・新規登録遺跡一覧

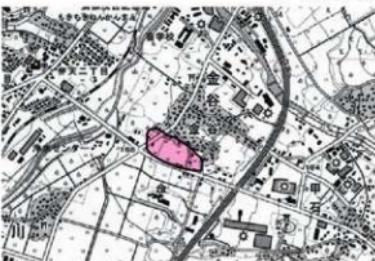
区分	No.	遺跡名 (番号)	所在地	種別	時期	通知文書他	届出者	地図名
範囲修正	1	日影館跡 (213-116)	南陽市	城館跡	中世	2020年3月16日南教社第594号南陽市教委	南陽市教委	羽前中山
	2	萩生田遺跡 (213-148)	南陽市	集落跡、散布地	弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代	2020年3月16日南教社第595号南陽市教委	南陽市教委	赤潟
	3	藤木遺跡 (207-069)	上山市	集落跡	縄文時代、奈良時代	2020年11月20日上教生第109号上山市教委	上山市教委	上山
	4	問答山遺跡 (209-082)	長井市	散布地	縄文時代	2021年1月26日教文第318号長井市教委	長井市教委	長井
	5	亀ヶ崎城跡 (204-033)	酒田市	城館跡	—	2021年3月26日酒教社発第379号酒田市教委	酒田市教委	酒田南部
	6	杉沢C遺跡 (461-145)	遊佐町	集落跡	縄文時代、奈良・平安時代、中世、近世	2021年3月30日文文第1358号山形県	山形県	吹浦
名称変更	7	問答山遺跡 (209-082)	長井市	散布地	縄文時代	2021年1月26日教文第318号長井市教委	長井市教委	長井
新規登録	8	鷹戸山館跡 (213-279)	南陽市	城館跡	中世	2020年3月16日南教社第589号南陽市教委	南陽市教委	羽前中山
	9	鷹戸山東館跡 (213-280)	南陽市	城館跡	中世	2020年3月16日南教社第590号南陽市教委	南陽市教委	羽前中山
	10	日影小館跡 (213-281)	南陽市	城館跡	中世	2020年3月16日南教社第591号南陽市教委	南陽市教委	羽前中山
	11	北日影館跡 (213-282)	南陽市	城館跡	中世	2020年3月16日南教社第592号南陽市教委	南陽市教委	羽前中山
	12	源藤遺跡 (381-314)	高畠町	集落跡	奈良・平安時代	2021年3月30日文文第1351号山形県	山形県	鶴野目



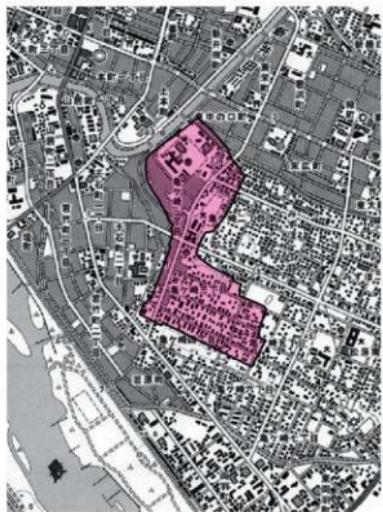
1 日影館跡、8 鷹戸山館跡、9 薩戸山東館跡、
10 日影小館跡、11 北日影館跡



2 萩生田遺跡



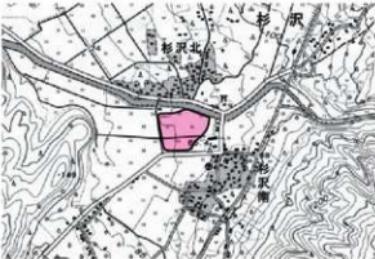
3 藤木遺跡



5 亀ヶ崎城跡



4・7 問答山遺跡



6 杉沢C遺跡



12 露藤遺跡

掲載遺跡位置図使用図幅一覧（2万5千分の1）

No.	遺跡名	地図名
1	農地整備事業（経営体育成型）(松原地区)	海谷
2	露藤遺跡	糠野目
3	農地整備事業（経営体育成型）(赤坂東地区)	羽前金山
4	農地整備事業（経営体育成型）(沼田中村地区)	差首鍋・大沢
5	農地整備事業（経営体育成型）(平枝地区)	差首鍋
6	川の内遺跡	羽前金山
7	塩根川遺跡	羽後川井
8	狼沢遺跡	谷地
9	農地整備事業（中山間地域型）(大槻秋山地区)	谷地
10	農地整備事業（経営体育成型）(漆山地区)	漆山
11	農地整備事業（中山間地域型）(大向上野地区)	大沢
12	農地整備事業（経営体育成型）(三光堰西1期地区)	舟形
13	馬形遺跡	舟形
14	谷柏古墳群、高崎遺跡、オサヤズ窓跡、石田遺跡	山形南部
15	杉沢C遺跡	吹浦
16	後谷地遺跡、サナミ坂窓跡隣接地	吹浦
17	白須賀遺跡、元館跡	古口
18	農地整備事業（経営体育成型）(共栄地区)	羽前金山
19	片杉野遺跡	羽前金山
20	原の内A遺跡	延沢
21	幣掛遺跡、神矢田遺跡	吹浦
22	大橋遺跡	吹浦
23	井岡遺跡	鶴岡
24	新青渡遺跡	羽後觀音時
25	荒町遺跡、熊原遺跡	延沢
26	北沢遺跡	延沢
27	三百山橋跡、深沢館跡	左沢
28	米沢城東二の丸跡	米沢
29	山形城三の丸跡	山形北部・山形南部
30	宮内遺跡隣接地	新庄
31	野瀬遺跡	吹浦
32	鶴ヶ岡城跡	鶴岡
34	釜淵C遺跡	及位

掲載遺跡位置図使用図幅一覧(2万5千分の1)

No.	遺跡名	地図名
34	南台遺跡	長井
35	最上川上流寒河江管内河道整正外工事	左沢
36	一般国道13号真室川雄勝道路(遺跡可能性地)	及位
37	赤川中流部河道掘削事業(対馬地区)	湯の浜2
38	赤川中流部河道掘削事業(文下地区)	湯の浜2
39	赤川中流部河道掘削事業(助川地区)	鶴岡
40	三崎遺跡	小砂川2
41	谷地之子遺跡、小屋林道西遺跡	小砂川2、吹浦
42	弥陀之上遺跡隣接地	小砂川2
43	水林下遺跡	小砂川2
44	土橋遺跡	酒田南部
45	一般国道7号福岡交差点改良	湯の浜2
46	最上川直轄河川改修事業(最上川中流)	古口
47	沢内の沢2砂防堰堤	古口
48	月野原C遺跡	吹浦
範囲修正	日影館跡	羽前中山
	萩生田遺跡	赤湯
	藤木遺跡	上山
	問答山遺跡	長井
	亀ヶ崎城跡	酒田南部
	杉沢C遺跡	吹浦
名称変更	問答山遺跡	長井
新規登録	鷹戸山館跡	羽前中山
	鷹戸山東館跡	羽前中山
	日影小館跡	羽前中山
	北日影館跡	羽前中山
	露藤遺跡	鰐野目

報告書抄録

ふりがな	ぶんぶちょうさほうこくしょ 48									
書名	分布調査報告書(48)									
副書名										
シリーズ名	山形県埋蔵文化財調査報告書									
シリーズ番号	第 227 集									
編著者名	竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平 山科樹生									
編集機関	山形県観光文化スポーツ部									
所在地	〒 990-8570 山形県山形市松波二丁目 8 番 1 号 TEL 023-630-2879									
発行年月日	2022 年 3 月 31 日									
ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	発掘期間	発掘面積 m ²	発掘原因			
杉沢C遺跡	山形県 遊佐町 杉沢	6461	461-145	39° 00' 40"	139° 57' 57"	20201105 20201112 20201119 20201126 20201203 20201207 20201210 20201214 20201222 20201227	541.00	試掘調査		
山形城三の丸跡	山形県 山形市 本町	6201	201-003	38° 25' 13"	140° 33' 64"	20200806 20200909 20201225	18.00	試掘調査		
水林下遺跡	山形県 遊佐町吹浦 字水林下	6461	461-078	39° 06' 18"	139° 52' 53"	20200818 20200904 20200918 20201013 20201020	187.68	試掘調査		
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項					
杉沢C遺跡	集落跡	縄文時代・奈良・平安時代・中世・近世	土坑・柱穴	縄文土器・石器・須恵器・土師器	(出土品箱数: 1 箱)					
山形城三の丸跡	城館跡	奈良・平安時代・中世・近世	竪穴建物跡・土坑・ピット溝跡	土師器	(出土品箱数: 1 箱)					
水林下遺跡	集落跡	旧石器時代・縄文時代・奈良・平安時代	土坑・ピット・遺物包含層	土師器	(出土品箱数: 1 箱)					
要約	杉沢C遺跡	令和元年度に引き続きトレンチ 14 箇所を設定して調査を行ったところ、7 箇所のトレンチで遺構・遺物が確認された。トレンチ 35 において須恵器・土師器片が出土したため、これまで未確認であった古代の遺跡があることが判明した。								
	山形城三の丸跡	事業地内に 11 箇所のトレンチを設定して調査を行ったところ、7 箇所のトレンチで竪穴建物跡・土坑等の遺構が確認された。遺物は主に古代の土師器片が出土した。								
	水林下遺跡	令和元年度に引き続き、事業地内に 14 箇所のトレンチを設定して調査を行ったところ、トレンチ 19 ~ 21 において柱穴・土坑等の遺構が確認された。土坑からは土師器片が出土した。								

山形県埋蔵文化財調査報告書第 227 集

分布調査報告書 (48)

令和 4 年 3 月 31 日 発行

発行 山形県観光文化スポーツ部

印刷 藤庄印刷株式会社

リサイクル適性 A
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。